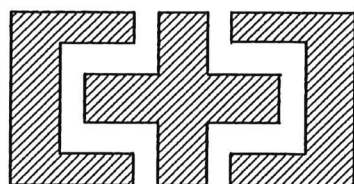


# 労働災害事例研究



はじめに（四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会長）  
発刊によせて（四日市労働基準監督署長）  
事例に学ぶ（四日市コンビナート地域防災協議会長）

1981～2023年休業災害347件の分類

2023年休業災害事例（6件）

1984～2023年不休業災害474件の分類

2023年不休業災害事例（20件）

四日市労働基準監督署管内「労働災害・死亡災害」発生状況  
教育部会報告

おわりに

会員名簿

（第43集）

2024年6月

四日市コンビナート協力会社

災害防止協議会等連絡協議会

# 安全は 一人が 責任者！

## 5S活動

整理 整頓 清掃

清潔 躰



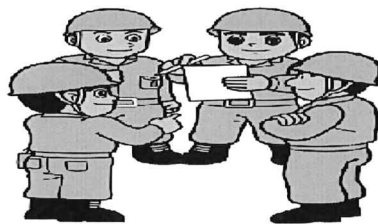
注意一秒 怪我一生

### 安全第一

SAFETY FIRST

しないもせない  
不安全行動

作業前の危険予知



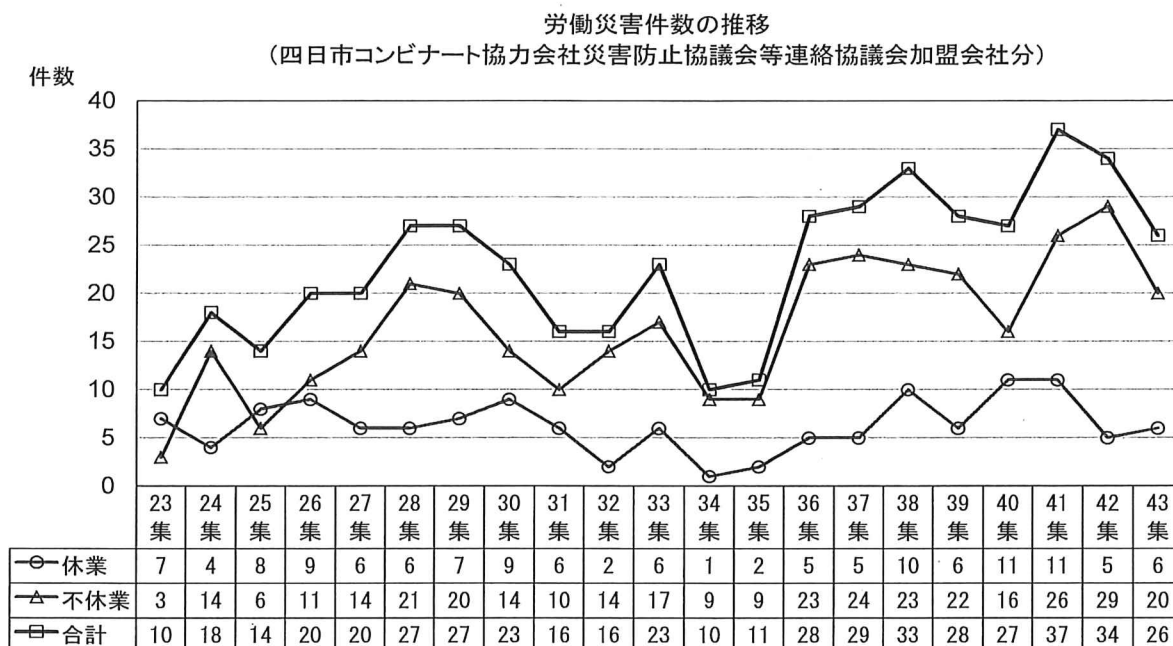
# はじめに

関係者のご協力により、労働災害事例研究第43集を発行することができました。

この事例集には、令和5年1月から12月までに当連絡協議会に加盟する企業で発生した労働災害として休業災害6件、不休業災害20件を収録しています。災害件数は、平成22年（第30集）から減少してきましたが、平成28年（第36集）より増加傾向が続いています。

事故の型別では、【激突され】と【はさまれ、巻き込まれ】が各4件、【転倒】、【切れ、こすれ】および【動作の反動、無理な動作】が3件、【激突】、【飛来、落下】、【高音・低温の物との接触】および【有害物との接触】とが各2件で続いています。

近年増加している熱中症（脱水症）は2件であり、最近では最も少なくなっています。



令和5年は、コンビナート特有の、薬傷やガス中毒などの【有害物等との接触】が2件と少なかったのが特徴です。工事着手前には有害物質が除去され、以前より工事着手の環境が整ってきているとも考えられますが、大規模定期修理の有無などの要因も考慮しないと簡単に分析はできません。

工事環境に少しでも不安がある場合には、工事環境について客先に再度確認し、初回の入槽時にはエアラインマスク等を着用して工事に着手する等の用心深い工事対応も必要です。工事着手後であっても異常を感じた場合は、ためらわずに工事を一時中断して客先と協議するようにお願いします。

また、個人の不注意や不安全行動から労働災害に至ることのないようにルール遵守を徹底してまいりましょう。この事例集にある軽微な労働災害は、相当数をなくすことが出来るのではないかと考えられます。

この事例集を職場で有効にご活用いただき、労働災害の防止に取り組んで頂くよう重ねてお願い申し上げます。

令和6年6月

四日市コンビナート協力会社  
災害防止協議会等連絡協議会  
会長 岩野 淳作

## 発刊によせて

「労働災害事例研究」第43集の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会におかれましては、積極的に災害防止活動に取り組みいただき、心より敬意を表します。

さて、令和5年における当署管内の死傷者数は、新型コロナウイルスの罹患による労働災害を除いて、死亡者数は2人と前年比3人60.0%の減少、休業4日以上の死傷者数も831人と前年比4人0.5%の減少（化学工業では13人（14人51.9%減少））となりましたが、当署目標である死傷者数777人未満の達成は出来ませんでした。

死傷者数を事故の型別で見ると、「転倒」が最も多く全体の28.8%、次いで「墜落・転落」17.0%、「動作の反動・無理な動作」14.7%を占めています。特に「転倒」においては年齢が高くなるに連れて多発し、高年齢労働者が48.1%を占めており、いわゆる「行動災害」の防止が課題となっています。

また、本年は第14次労働災害防止計画の2年目となり、三重労働局においても引き続き「死亡災害ゼロ・アンダー2,000みえ推進運動」を展開しており、皆様方には労働災害を防止するため、引き続き労使一丸となった安全衛生活動の取り組みをお願い申し上げます。

本年度の全国安全週間スローガンは、  
「危険に気付くあなたが目　そして摘み取る危険の芽　みんなで築く職場の安全」  
です。

皆様方におかれましては、このたび発刊されます第43集を有効活用され、労使双方の安全衛生意識を高めるとともに、同様の災害を発生させないよう法令や職場の基本ルールが徹底されているか、また適切に実行できる業務体制になっているか改めてチェックを図ることで、第14次労働災害防止計画の目標達成の足掛かりを作っていただきますようお願いいたします。

最後に、皆様の職場で無事故・無災害が達成されますことをお願い申し上げ、発刊によせての挨拶とさせていただきます。

令和6年6月

四日市労働基準監督署長 三浦かをり

## 事例に学ぶ

「労働災害事例研究」第43集の発刊にあたり、加盟会社を代表して一言ご挨拶申し上げます。

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会におかれましては、昭和55年（1980年）の発足以来、長きにわたり安全に関わる様々な取り組みを展開され、職長教育や安全に関わる各種講習会等の開催、さらには「労働災害事例研究」の発行など、労働災害防止につながる活動に精力的に取り組まれてきました。これまでのコンビナートにおける安全管理の向上に多大なるご貢献を頂いていることに対し、改めて心より感謝申し上げます。

令和6年は元旦に能登半島地震が、翌日には羽田空港航空機衝突事故が発生し、安全とは何かを改めて考えさせられました。また、4月には働き方改革関連法の建設業、ドライバーへの適用が開始され、安全で効率的な働き方が求められています。対応策として、ドローンやIoT等の新技術導入や電子申請による産業保安のスマート化等の検討が活発に進められていますが、それでも人の関与が無くなることはありません。ひとり一人がそれぞれの立場で無災害をどう達成するか考え、仲間と声を掛けあい、自主的かつ積極的に行動していくことが重要です。

「凡事徹底」という言葉があります。特別なことではなく、ごく平凡なことを徹底してやり抜くという意味です。安全は、当たり前なことを当たり前に行うか、徹底してできるかにかかってきます。そのためにも、ひとり一人が事例に学び、安全に対する知識と感性を高めていくことが求められます。

貴連絡協議会のご尽力により、このたび「労働災害事例研究」第43集が発刊されることになり、改めて御礼申し上げます。この「労働災害事例研究」は私たちの身近で発生した災害事例についてイラストを交えながら分かり易く取り纏めて頂いております。本事例集を各職場の最前線で働いていただいている方々にまで大いに活用して頂き、再発防止策に活用して頂くことで、四日市コンビナートで働くひとり一人の事故・労働災害の未然防止につながられるよう心より願っております。

最後に、常日頃からコンビナート各社への多大なるご支援、ご協力を賜っております貴連絡協議会加盟会社各社のご発展と今後の無事故・無災害を祈念しまして発刊のご挨拶とさせていただきます。

「ご安全に！」

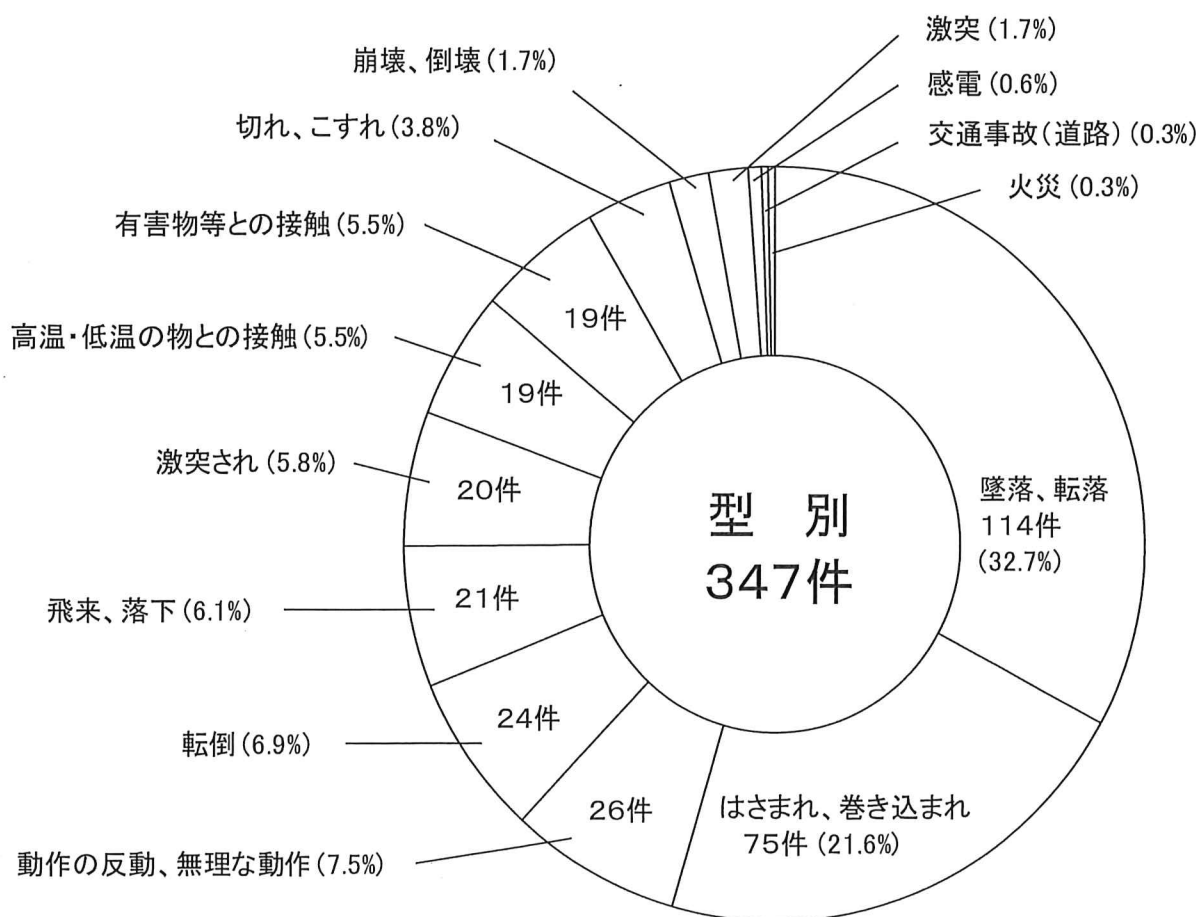
令和6年6月

四日市コンビナート地域防災協議会  
会長会社  
東ソー株式会社  
上席執行役員事業所長 村田 富

1981～2023年死亡・休業災害347件の分類

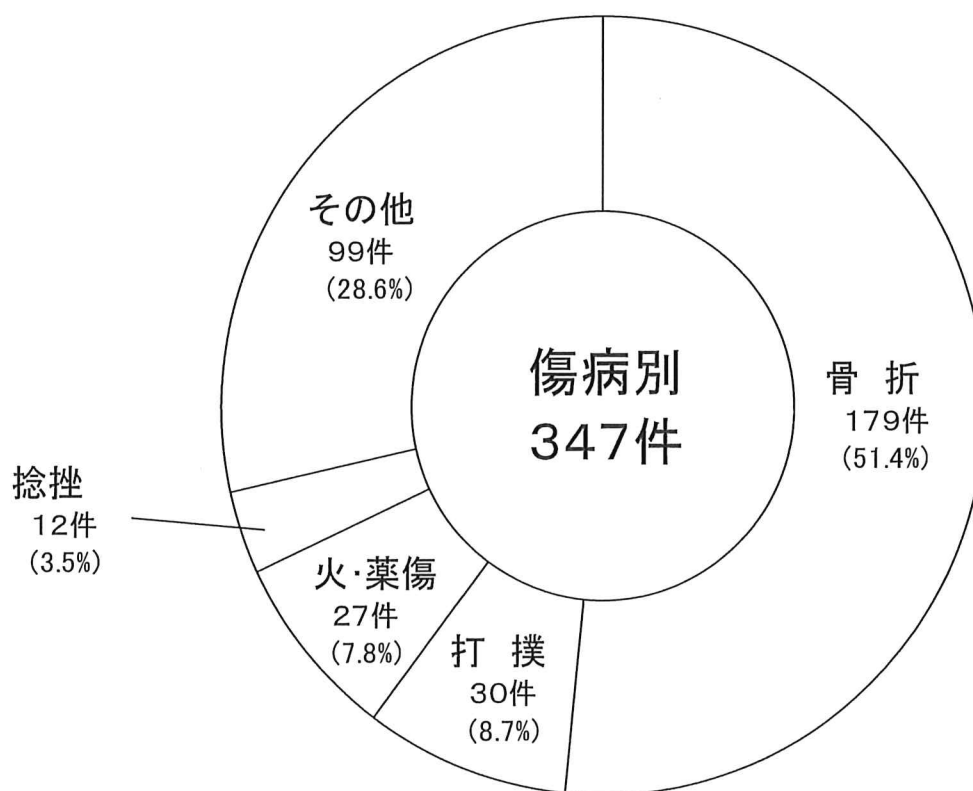
〔型別〕

	'81～'13	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
墜落、転落	102				3	3	2	2	2			114
はさまれ、巻き込まれ	65	1		3				2	2	1	1	75
動作の反動、無理な動作	13			1		1	2	4	2	1	2	26
転倒	16			1	1	1	1		2	2		24
飛来、落下	20					1						21
激突され	18								1		1	20
高温・低温の物との接触	15					2	1	1				19
有害物等との接触	14		1			1		1	1	1		19
切れ、こすれ	10		1					1			1	13
崩壊、倒壊	5				1							6
激突	3					1			1		1	6
感電	2											2
交通事故(道路)	1											1
火災	1											1
踏み抜き												0
おぼれ												0
爆破												0
交通事故(その他)												0
その他												0
分類不能												0
合計	285	1	2	5	5	10	6	11	11	5	6	347



〔傷病別〕

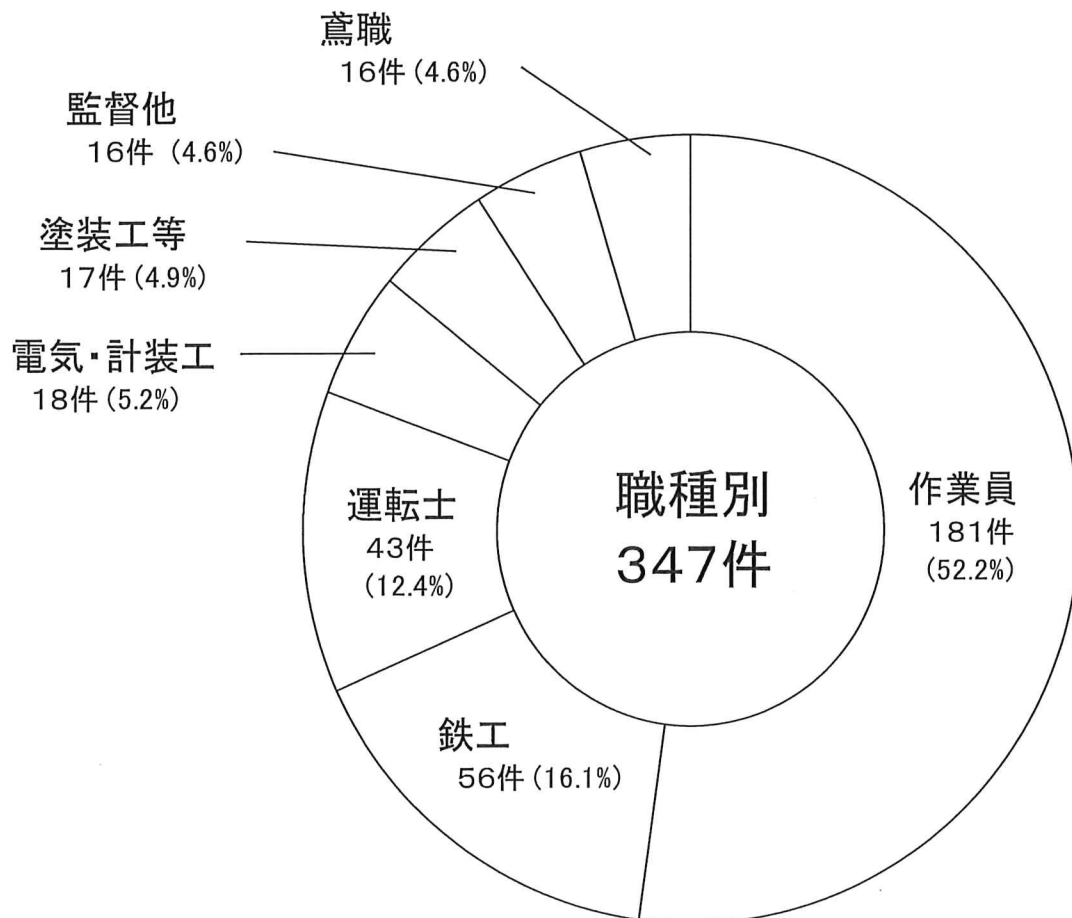
	'81~'13	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
骨折	154			3	5	4	2	4	5	1	1	179
打撲	26					1		1	2			30
火・薬傷	26							1				27
捻挫	8			1				1		1	1	12
その他	71	1	2	1		5	4	4	4	3	4	99
合計	285	1	2	5	5	10	6	11	11	5	6	347



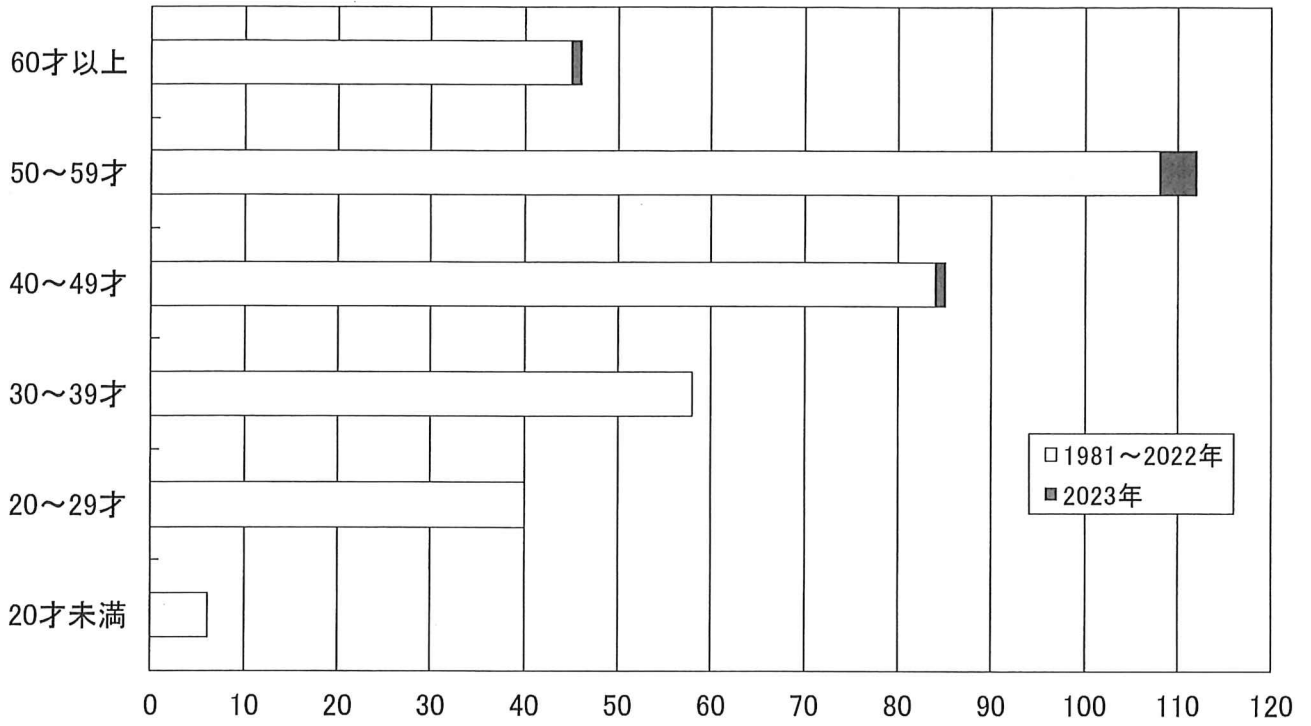
〔職種別〕

	'81~'13	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
作業員 (包装・運搬・清掃等)	142 (12)	1	2	4	3	4	5	4	7 (1)	4	5	181 (13)
鉄工 (組立・製缶・配管・溶接等)	51 (1)	0	0	0	0	3	1	1				56 (1)
運転士 (クレーン・トラック・リフト等)	35	0	0	0	0	2		3	2		1	43
電気・計装工	17	0	0	0	0	0			1			18
塗装工等 (含む大工・左官)	17 (1)	0	0	0	0	0						17 (1)
監督他	11	0	0	1	1	0		3 (1)				16 (1)
鳶職	12 (1)	0	0	0	1	1			1	1		16 (1)
合計	285 (15)	1	2	5	5	10	6	11 (1)	11 (1)	5	6	347 (17)

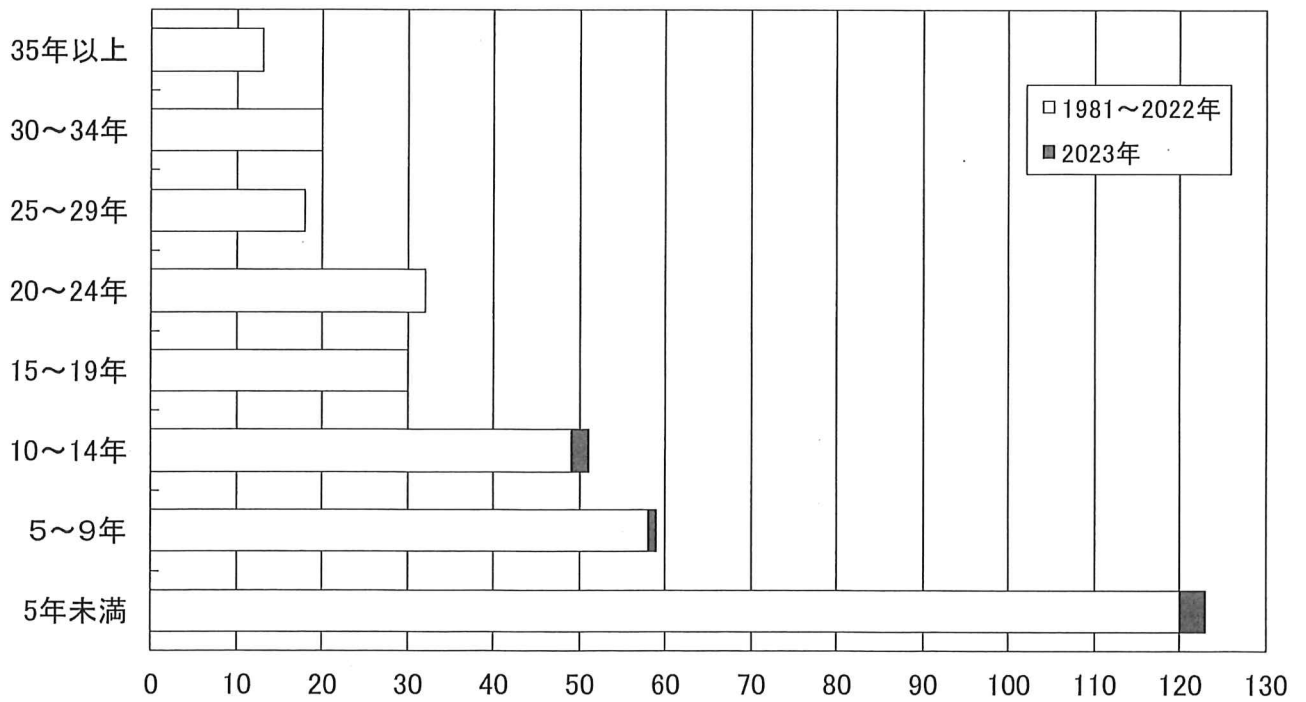
( )内は死亡件数(内数で示す)



[年齢別]



[経験年数別]



〔度数率および強度率〕

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
四日市 コンビナート 協力会社 (連絡協)	度数率	0.08	0.17	0.36	0.34	0.76	0.43	0.80	0.81	0.39	0.55
	強度率	0.01	0.00	0.02	0.03	0.03	0.00	0.72	0.57	0.01	0.02
	休業件数	1	2	5	5	10	6	11	11	5	6
	損失日数	174	36	260	467	398	67	9,908	7,744	103	235
	延労働時間数	1,249	1,198	1,380	1,478	1,308	1,406	1,375	1,360	1,272	1,089
全産業	度数率	1.66	1.61	1.63	1.66	1.83	1.80	1.95	2.09	2.06	2.14
	強度率	0.09	0.07	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
建設業	度数率	0.91	0.92	0.64	0.81	1.09	1.69	1.30	1.39	1.47	1.69
	強度率	0.07	0.21	0.11	0.18	0.30	0.29	0.24	0.41	0.22	0.29

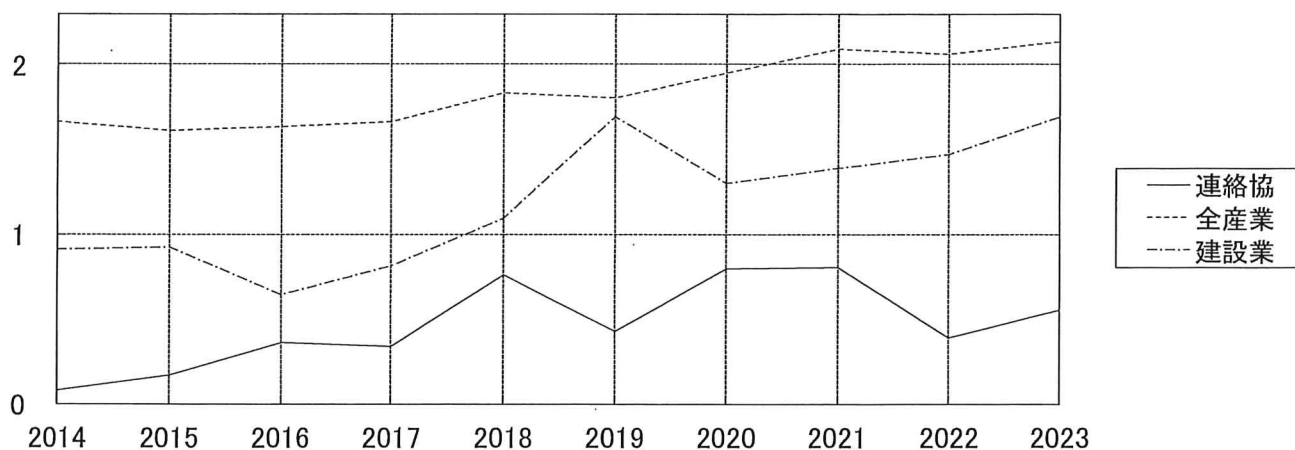
〔注〕1. 度数率には不休労災を含まない。

2. 全産業・建設業は、厚生労働省の統計による。

3. 協力会社は四日市コンビナート地域防災協議会の災害統計による。

4. 連絡協延労働時間数の単位は万時間。

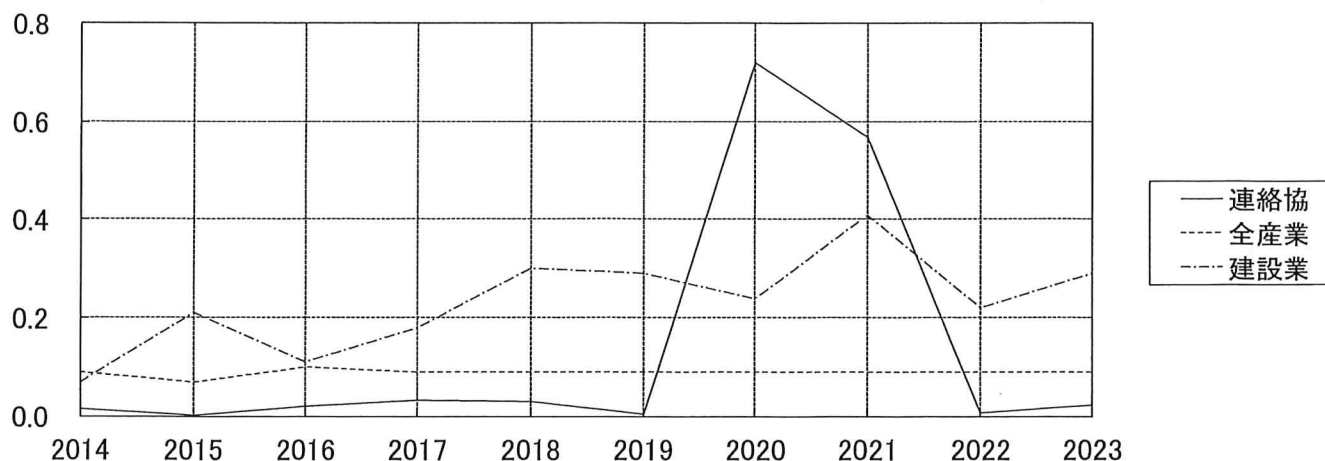
〔度数率の推移〕



$$\text{度数率} = (\text{死傷者数} / \text{延労働時間数}) \times 1,000,000$$

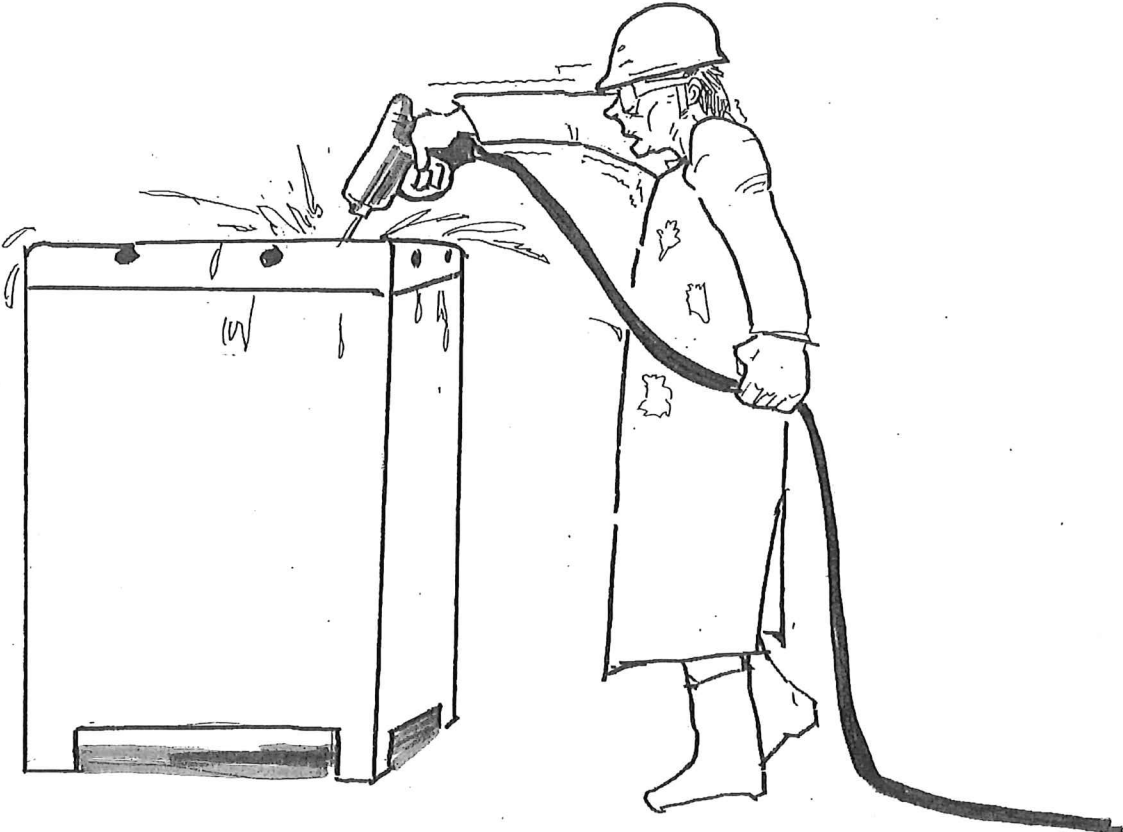
(100万延労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって災害の頻度を表したものの)

〔強度率の推移〕

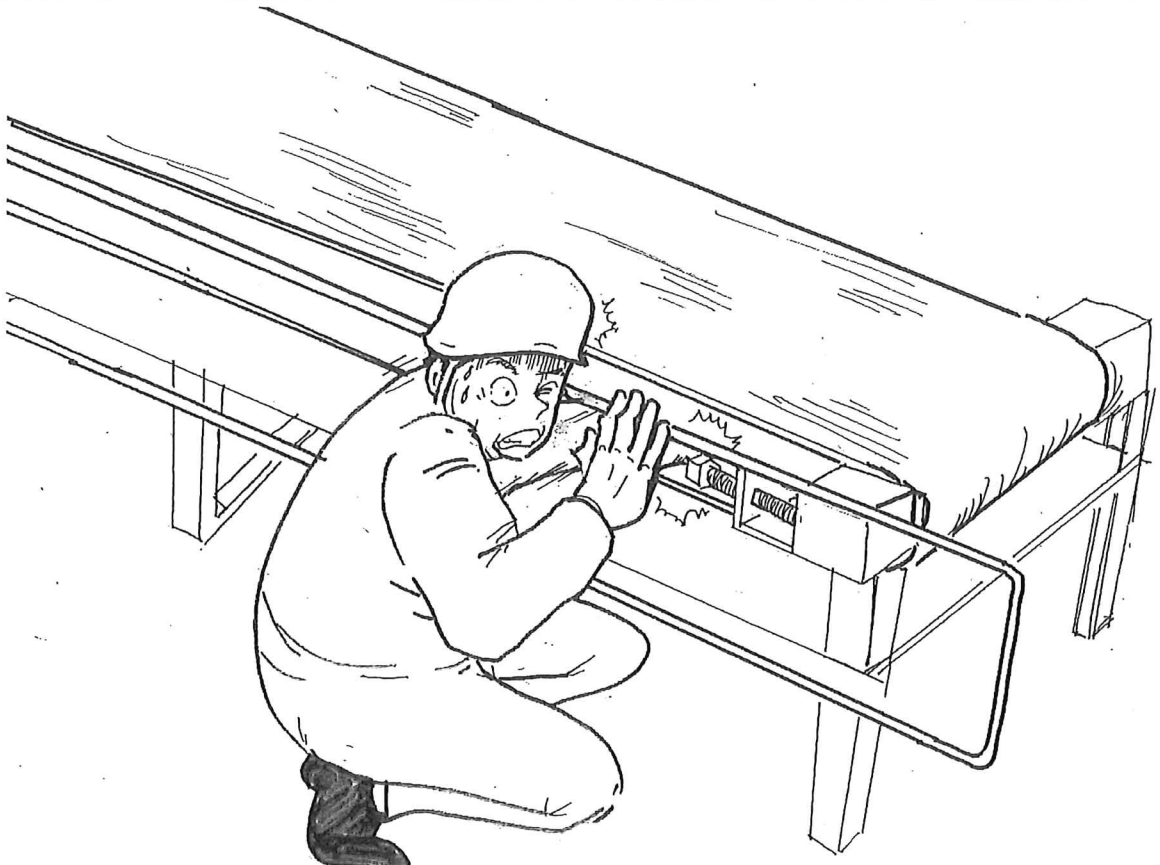


$$\text{強度率} = (\text{労働損失日数} / \text{延労働時間数}) \times 1,000$$

(1,000延労働時間当たりの労働損失日数をもって災害の大小の程度を表したものの)

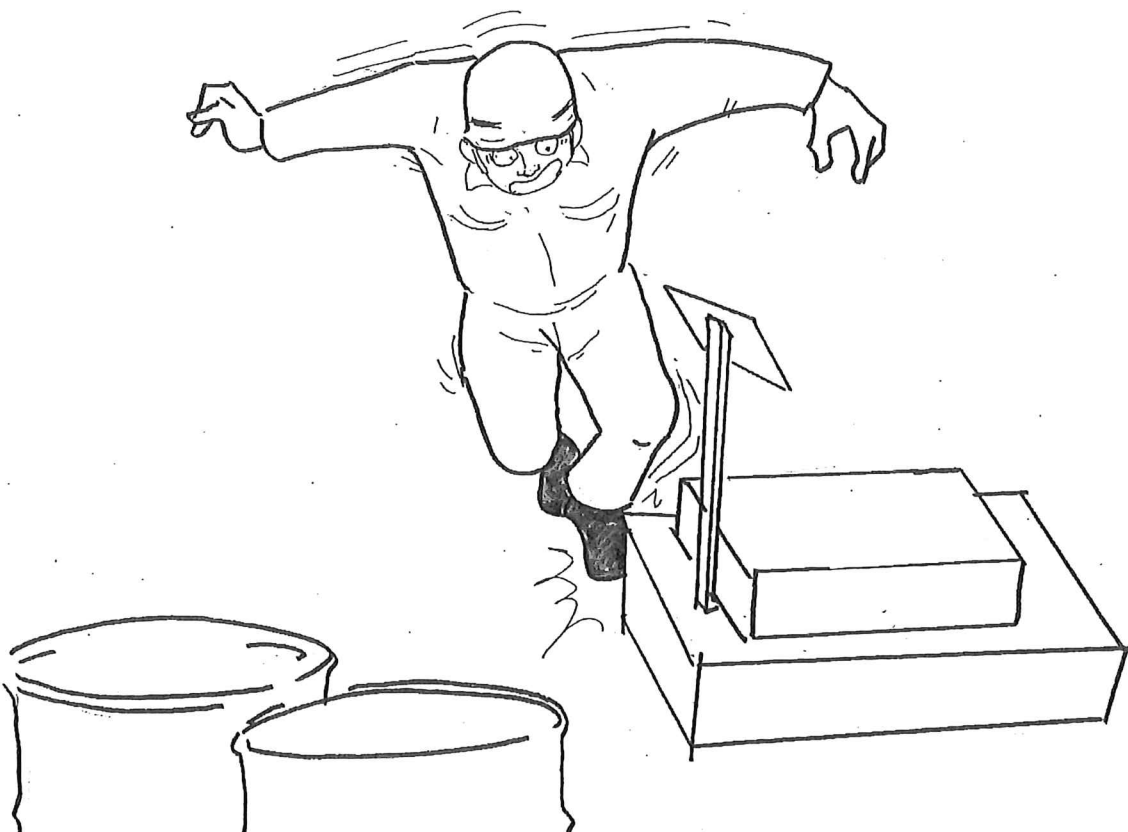
災害事例 (休業1)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年1月11日(水) - : プラント内		
職種:年齢:経験	作業員 : 71才 : 11年		
発災時の作業内容	高圧洗浄機を用いて製品容器(1m <sup>3</sup> )の外面洗浄を2日間(28基/日)にわたって行った後、疲労が蓄積し右肩を痛めた。		
傷病名:部位:程度	腱板断裂 : 右肩 : 休業216日		
事故の型:起因物	動作の反動、無理な動作 : 高圧洗浄機		
原因	不安全な状態	・高圧洗浄機の水圧が高かった。	
	不安全な行動	・肩に負担がかかる姿勢で作業を行った。 ・高齢者であるにも関わらず、長時間の作業を行った。	
	安全管理上の欠陥	・高齢者に対する作業管理(作業時間、作業量、作業姿勢等)が不十分だった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高年齢労働者の身体機能の低下等による特性に応じた作業管理を行う。(作業時間、作業量、作業姿勢等)</li> <li>・肩への負担を軽減する作業方法や洗浄機に変更する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

災害事例 (休業2)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年2月4日(土)	13時50分	構内
職種:年齢:経験	作業員	40才	5年
発災時の作業内容	<p>切断した樹木(丸太)をユニックで吊り上げる準備をしていた。 被災者が両手で丸太を掴んで転がし、結束ロープ上に移動させた。共同作業者は、被災者がその場を離れたことを目視した後、立て支えていた丸太を被災者の方向に倒した。しかし、被災者が丸太の元の位置に手を戻していたため、左手が丸太にはさまった。</p>		
傷病名:部位:程度	裂創(20針縫合)	左手中指	休業55日
事故の型:起因物	はさまれ、巻き込まれ		丸太
原因	不安全な状態	・作業者間で意思の疎通がなかった。	
	不安全な行動	・作業者間で声掛けが出来ていなかった。	
	安全管理上の欠陥	・丸太結束作業の作業手順が定められていなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸太結束作業の作業手順を定め、作業者に周知する。</li> <li>・作業前に作業者全員に対して、「声掛け・目視確認」を行うことを指示する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業3)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年7月29日(土)	7時25分	工場内
職種:年齢:経験	作業員	50才	11年
発災時の作業内容	包装機の金属検知器を試運転中に、付帯するベルトコンベアに異物を発見した。取り払おうと左手をベルトコンベアの間に差し入れた時、手が巻き込まれた。慌てて手を引き抜いた際に、左手前腕がベルトコンベア手前にあるテンションボルトと接触し切創した。		
傷病名:部位:程度	切創(深さ2cm)	左腕	休業3日
事故の型:起因物	切れ、こすれ		テンションボルト
原因	不安全な状態	・機器駆動部付近の隙間が広く、容易に手が入る構造であった。	
	不安全な行動	・稼働中の設備に手を入れた。	
	安全管理上の欠陥	・異物を発見した時に稼働中のコンベアを止めて取り払う手順書になっていなかった。	
再発防止対策	・稼働中の設備には手を出さない事を手順書に織り込み、現地で確認指導を行う。(設備点検は設備を停止させてから行う)		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業4)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年9月13日(水)	13時40分	建屋内
職種:年齢:経験	作業員	50才	3年9ヵ月
発災時の作業内容	工場の鋼製扉を閉める途中で扉が引っ掛かったため、さらに力を入れて扉を閉めていた際、左ふくらはぎを痛めた。		
傷病名:部位:程度	肉離れ	左足	休業8日
事故の型:起因物	動作の反動、無理な動作		鋼製扉
原因	不安全な状態	・扉のレール変形による可動不良があった。	
	不安全な行動	・扉を無理に閉めようとした。	
	安全管理上の欠陥	・変形していたレールの修理をさせていなかった。	
再発防止対策	・スムーズに開閉できるように扉の整備を実施する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し



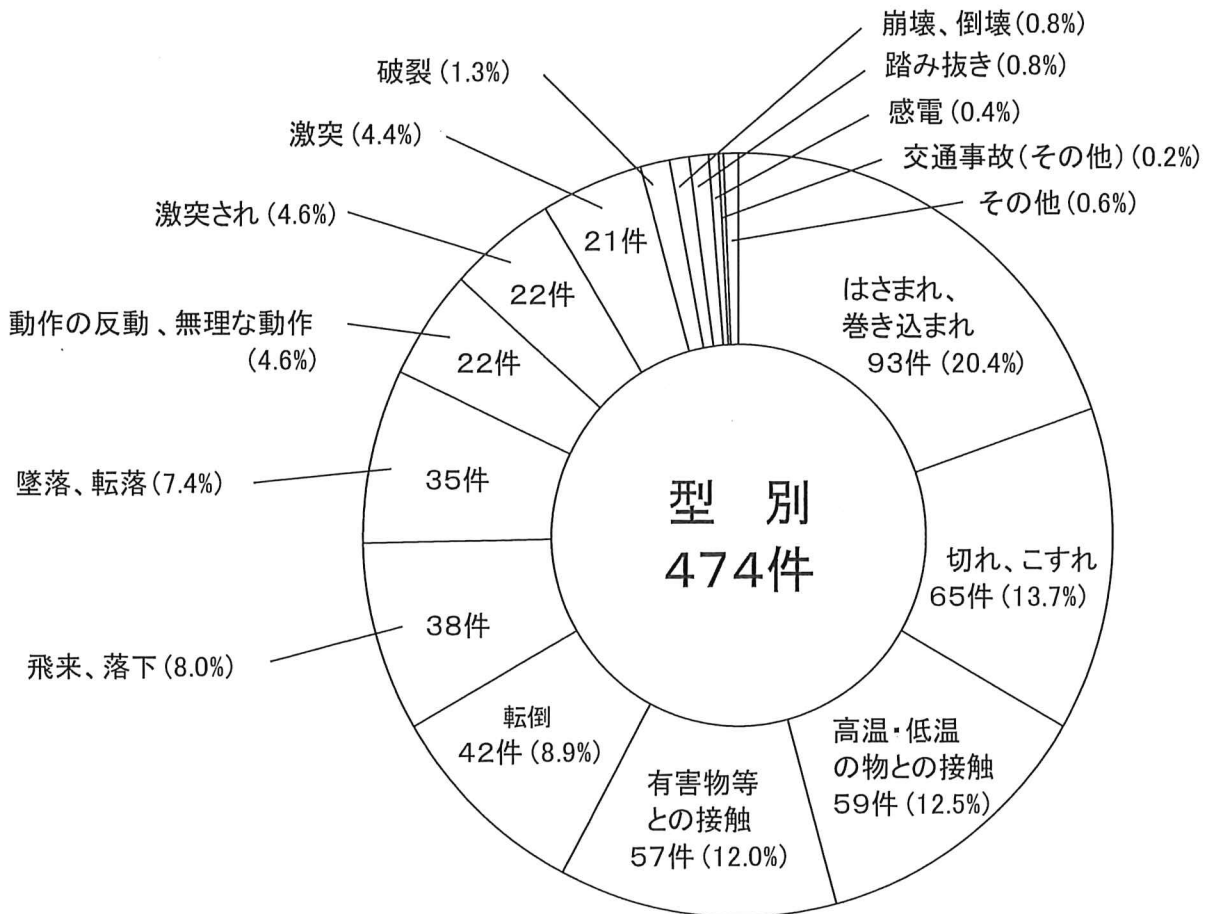
災害事例 (休業5)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年9月19日(火)	10時	作業場
職種:年齢:経験	作業員	: 50才	: 4年10ヵ月
発災時の作業内容	作業場を徒歩で移動中、計量秤が載ったパレットにつまずき、計量秤で左膝を強打した。		
傷病名:部位:程度	骨折	: 左膝	: 休業2日
事故の型:起因物	激突	:	パレット
原因	不安全な状態	・原料などの保管状況により通路が狭くなっていた。	
	不安全な行動	・足元の確認を行わずに歩行した。	
	安全管理上の欠陥	・安全通路を確保していなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業場の床にラインを引き、安全通路を確保する。</li> <li>・安全通路には物を置かない。</li> <li>・作業員に対し、足元に注意して通行するよう教育を行い、現地で確認する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		無し	
 <p>The illustration shows a worker in a white uniform and safety glasses running through a narrow aisle. The aisle is cluttered with two large drums on the left and a pallet loaded with boxes on the right. The worker is tripping over the pallet, with motion lines indicating a fall. This visualizes the unsafe condition of a narrow, cluttered aisle mentioned in the text.</p>			

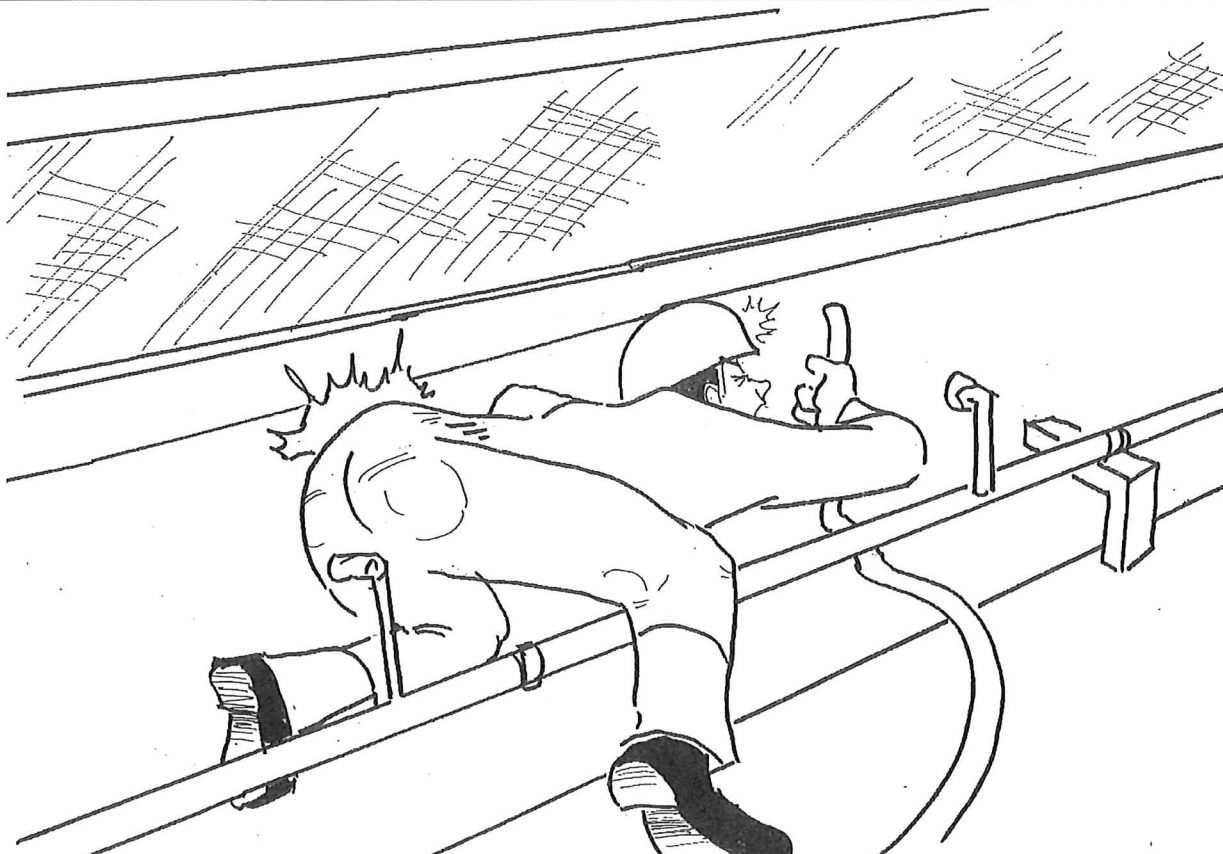
災害事例 (休業6)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年9月30日(土)	10時30分	倉庫
職種:年齢:経験	運転士	53才	2週間
発災時の作業内容	<p>トラック右側からフォークリフトで荷卸し中に、トラック運転士が、左側のアオリを手で押さえながらウイング開閉スイッチを操作していた。</p> <p>フォークリフト運転士が、誤ってフォークリフトの爪で荷を押してしまい、左側のアオリにぶつかったためアオリが押され、トラック運転士の腕に衝撃を与えた。</p>		
傷病名:部位:程度	挫傷	左腕	休業3日
事故の型:起因物	激突され		荷
原因	不安全な状態	・トラック運転士がフォークリフト運転士から見えない位置にいた。	
	不安全な行動	・フォークリフト運転士が右側で荷卸し中に、トラック運転士が左側のウイングとアオリを開こうとした。(省略行為)	
	安全管理上の欠陥	・フォークリフト運転士に対し、トラック運転士が見える位置にいないと作業を開始しない事の徹底が不十分だった。	
再発防止対策	・フォークリフトの荷役作業はトラック運転士が見える位置にいないと作業を開始しない事を徹底する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

1984～2023年不休業災害474件の分類

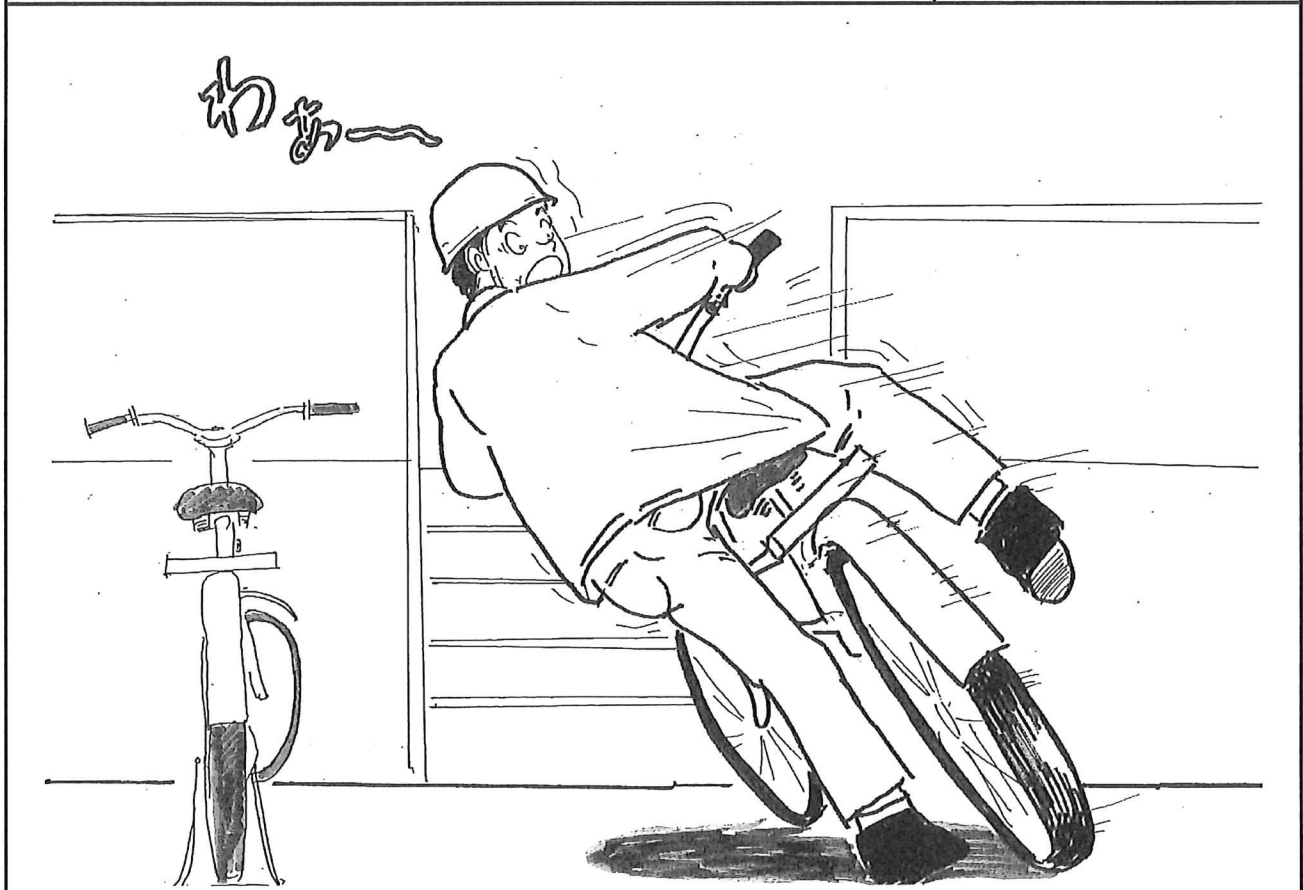
〔型別〕


	'84～'13	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
はさまれ、巻き込まれ	61	1		2	5	4	6	3	5	3	3	93
切れ、こすれ	40	1	1	5	1	1	3	3	4	4	2	65
高温・低温の物との接触	25	1	2	2	3	8	5	1	3	7	2	59
有害物等との接触	26		2	4	4	2	5	1	6	5	2	57
転倒	22	1		5	4	3	1			2	4	42
飛来、落下	24	1		2	1			3	4	1	2	38
墜落、転落	25	1	2	1	1	1	1			3		35
動作の反動、無理な動作	15				2			2	1	1	1	22
激突され	9	2	1		1	2		2	2		3	22
激突	13		1	2		1				3	1	21
破裂	6											6
崩壊、倒壊	2	1				1						4
踏み抜き	3						1					4
感電	1							1				2
交通事故(その他)	1											1
交通事故(道路)												0
おぼれ												0
爆発												0
火災												0
その他					2				1			3
分類不能												0
合計	273	9	9	23	24	23	22	16	26	29	20	474




災害事例 (不休業1)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年1月14日(土)	20時50分	プラント内
職種:年齢:経験	作業員	33才	6年
発災時の作業内容	大型乾燥機内で、奥の方にたまったゴムを水にて洗い流す作業を終え、機内から退出後、腰に痛みを感じた。		
傷病名:部位:程度	捻挫	腰	不休業
事故の型:起因物	動作の反動、無理な動作		乾燥機
原因	不安全な状態	・作業場所(上下方向)が非常に狭かった。	
	不安全な行動	・無理な姿勢(四つん這い)で作業を行った。	
	安全管理上の欠陥	・非常に狭い場所で、かつ無理な体勢で作業を行わせていた。	
再発防止対策	・無理な姿勢で作業をしなくて良いように作業方法を変更する。 (機械の改造、機械内部に入らずに高圧洗浄機での洗浄等)		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

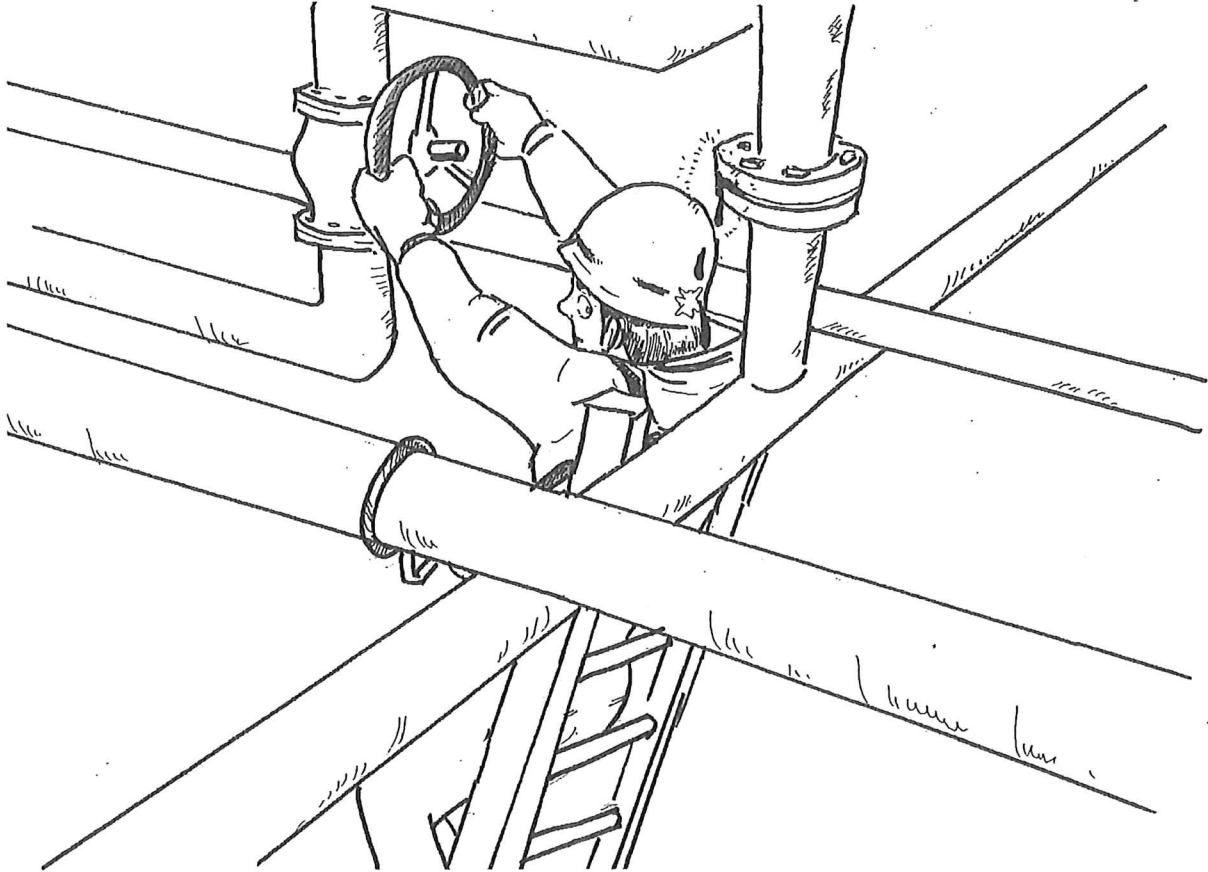
災害事例 (不休業2)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年1月23日(月)	17時5分	構内
職種:年齢:経験	作業員	63才	10年
発災時の作業内容	自転車にて詰所へ移動し、自転車を停止させ降りようとした。その際、防寒着が自転車のサドルに引っ掛かり、左側に転倒し、両膝を地面に打ち付けた。		
傷病名:部位:程度	挫創	左膝	不休業
事故の型:起因物	転倒		自転車
原因	不安全な状態	・防寒着の形状がサドルに引っ掛かりやすいものだった。	
	不安全な行動	・防寒着がサドルにかぶさった状態で自転車から降りようとした。	
	安全管理上の欠陥	・適切な形状の防寒着を選定していなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途に適した種類の防寒着を選定する。</li> <li>・自転車乗り降り時の注意喚起教育をする。</li> <li>・本事例を周知し、現地で確認指導する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し




災害事例 (不休業3)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年1月25日(水)	8時	事務所
職種:年齢:経験	作業員	35才	16年
発災時の作業内容	降雪日に屋外から事務所に入り通路を歩行中に足が滑り転倒した。		
傷病名:部位:程度	靭帯損傷	右膝	不休業
事故の型:起因物	転倒		雪
原因	不安全な状態	・靴底に雪が付着していた。	
	不安全な行動	・靴底に雪が付着したまま歩行した。	
	安全管理上の欠陥	・事務所入口に靴底清掃等の注意喚起をしていなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・靴底に雪など滑りやすいものが付着した場合は除去する。</li> <li>・事務所入口に「靴底清掃」の注意喚起表示をする。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し
			

災害事例 (不休業4)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年2月8日(水)	11時10分	出荷場
職種:年齢:経験	作業員	19才	10ヵ月
発災時の作業内容	無線機の操作をしながら線路内を移動していた時、溝に足がはまり、転倒し手を強打した。		
傷病名:部位:程度	打撲	左手小指	不休業
事故の型:起因物	転倒		溝
原因	不安全な状態	・溝にふたがなかった。	
	不安全な行動	・無線機の操作を行いながら足元を確認せずに歩行した。	
	安全管理上の欠陥	・ながら作業禁止の教育、指導が不十分だった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線路敷地内の溝にふたを設置する。</li> <li>・ながら作業禁止の教育を行い、現地で確認する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

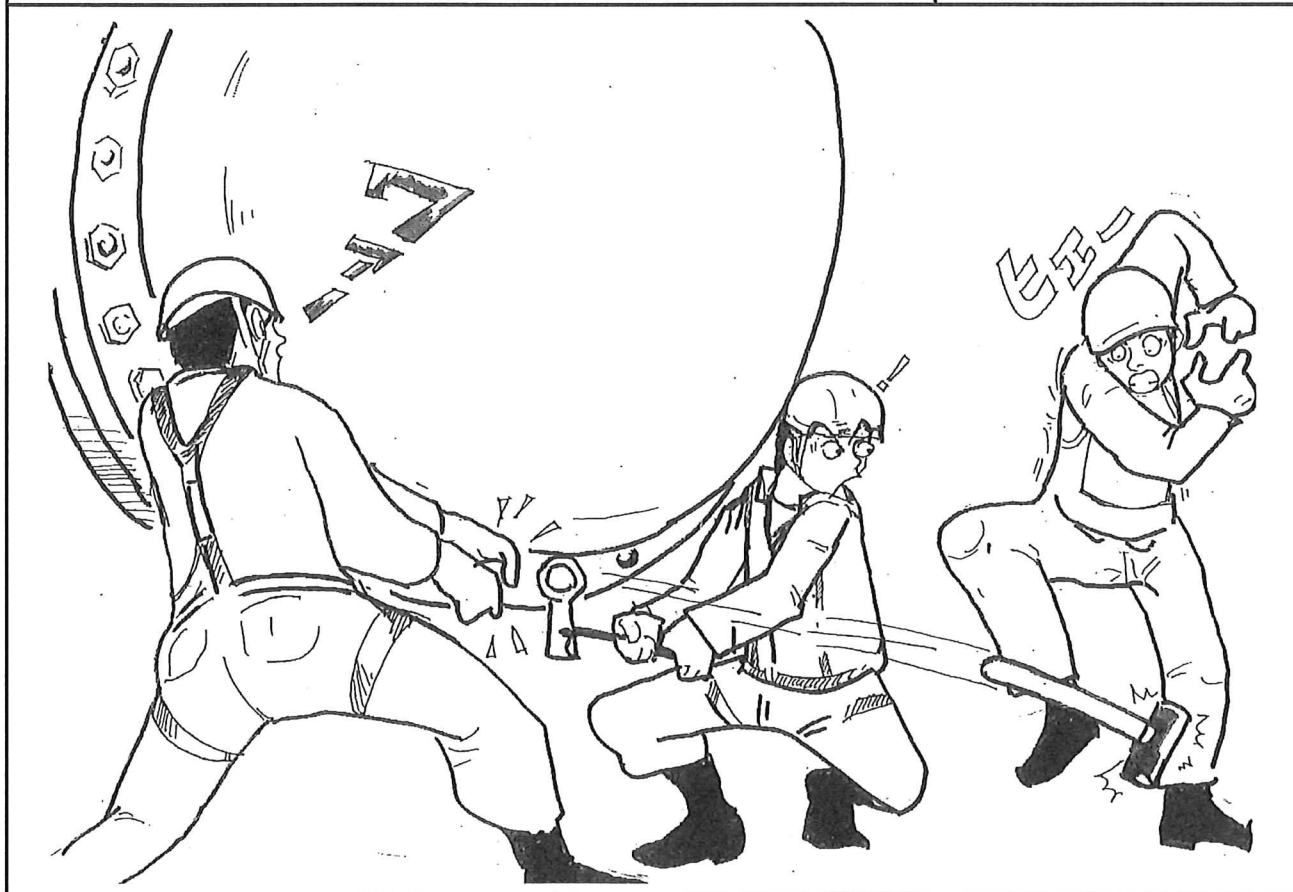
災害事例 (不休業5)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年2月11日(土)	8時45分	屋外
職種:年齢:経験	鳶職	38才	5年
発災時の作業内容	現場へ移動途中、階段(幅2m)の中央部を降りていた際、段差につまずき転落し、地面で膝を強打した。		
傷病名:部位:程度	骨折	右膝	不休業
事故の型:起因物	墜落、転落		階段
原因	不安全な状態	・階段の高さ(150~200mm)と奥行き(550~750mm)が不均一だった。	
	不安全な行動	・手すりを持たずに階段中央部を降りた。	
	安全管理上の欠陥	・高さ、奥行きが不均一な仮設階段を放置した。 ・階段昇降時は手すりを持つ指導が不十分だった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足場材による高さ、奥行きを均一化した仮設階段を設置する。</li> <li>・テープによる色別表示を実施する。</li> <li>・階段の昇降時は手すりを持つように教育し現地で確認する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

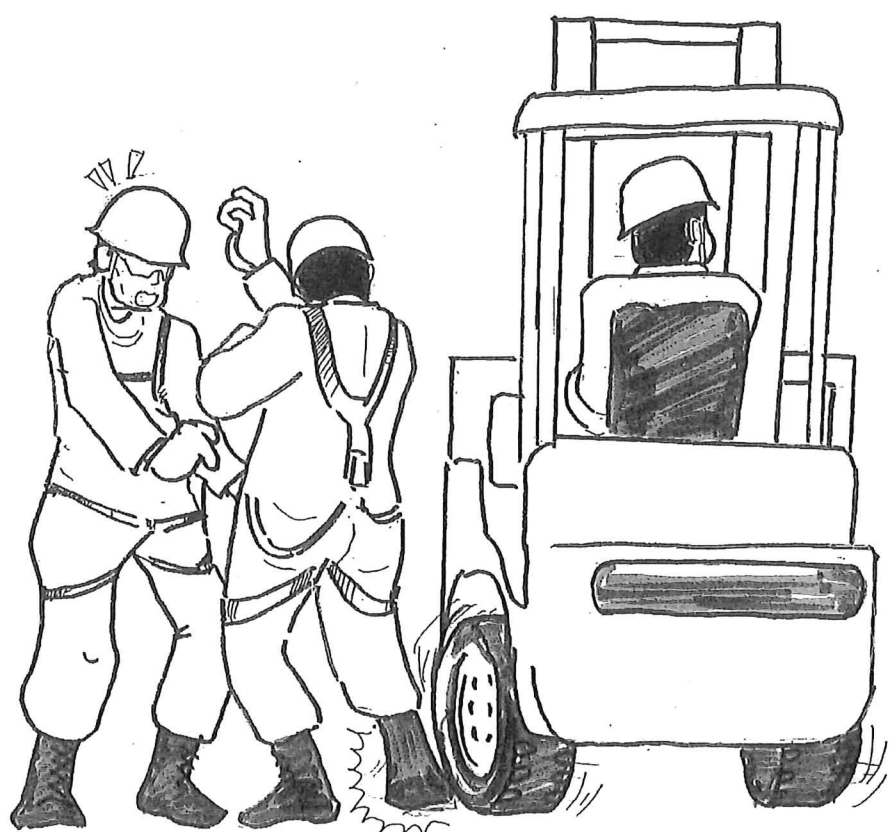
災害事例 (不休業6)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年2月27日(月)	10時	プラント内
職種:年齢:経験	作業員	31才	12年
発災時の作業内容	ラック上の配管バルブを操作する際、ヘルメットが上部配管に擦れて、付着していた液が首筋に垂れて被液した。		
傷病名:部位:程度	薬傷	後頸部	不休業
事故の型:起因物	有害物等との接触	配管フランジ	
原因	不安全な状態	・配管フランジから有害物のにじみがあった。	
	不安全な行動	・周囲の安全確認をせずに操作をした。	
	安全管理上の欠陥	・周囲の安全確認をする指示が出来ていなかった。 ・事前の安全確認が不十分だった。(客先)	
再発防止対策	・事前に作業エリアの安全確認を行い、有害物のにじみがあった場合には適切な処置を行う。(客先) ・作業員は周囲の安全確認をした後に作業を行う。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		無し	
			

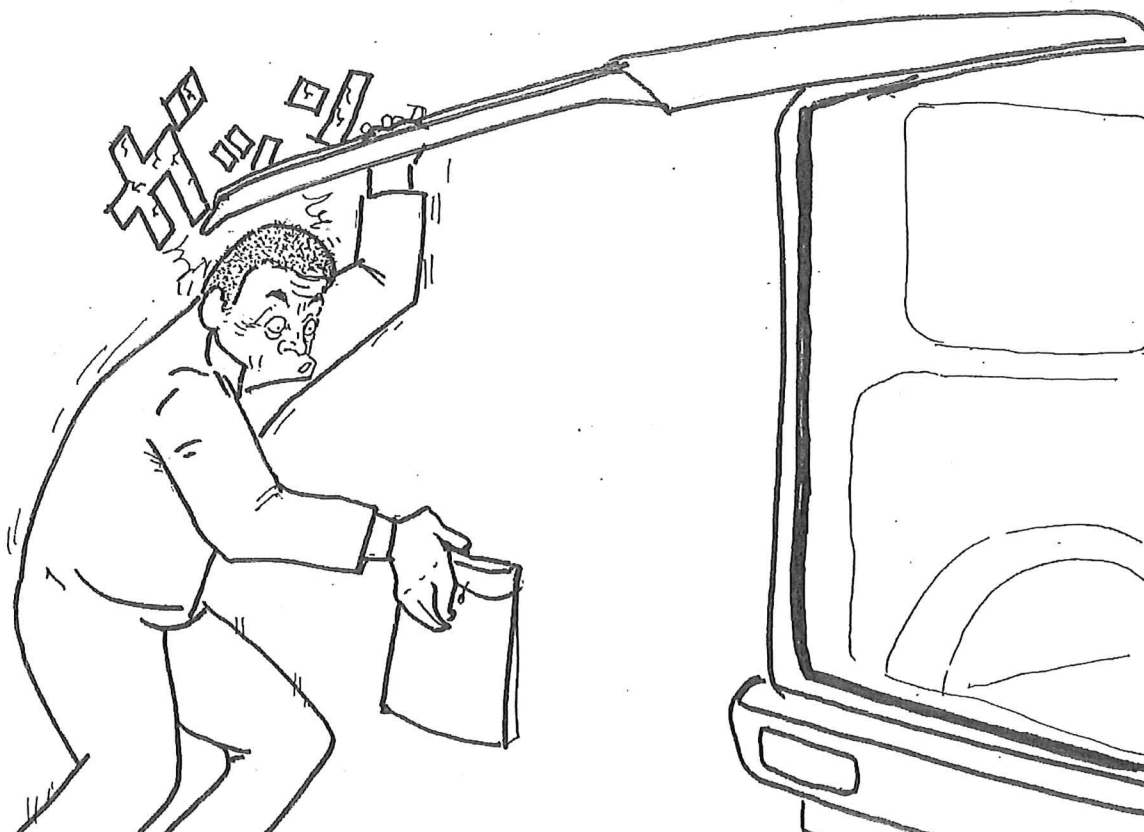
災害事例 (不休業7)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年3月9日(木)	16時	構内
職種:年齢:経験	作業員	: 31才	: 12年
発災時の作業内容	ポケットからカッターナイフを取り出す際、カッターナイフの刃で手を負傷した。		
傷病名:部位:程度	切創(2針縫合)	: 右手小指	: 不休業
事故の型:起因物	切れ、こすれ	:	カッターナイフ
原因	不安全な状態	・カッターナイフの刃が露出していた。	
	不安全な行動	・留め具のネジが緩んだ状態でポケットに入れた。	
	安全管理上の欠陥	・刃物の取り扱いに関する指導が不十分だった。(留め具のネジ緩み)	
再発防止対策	・刃物の取り扱いに関する教育指導を行う。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

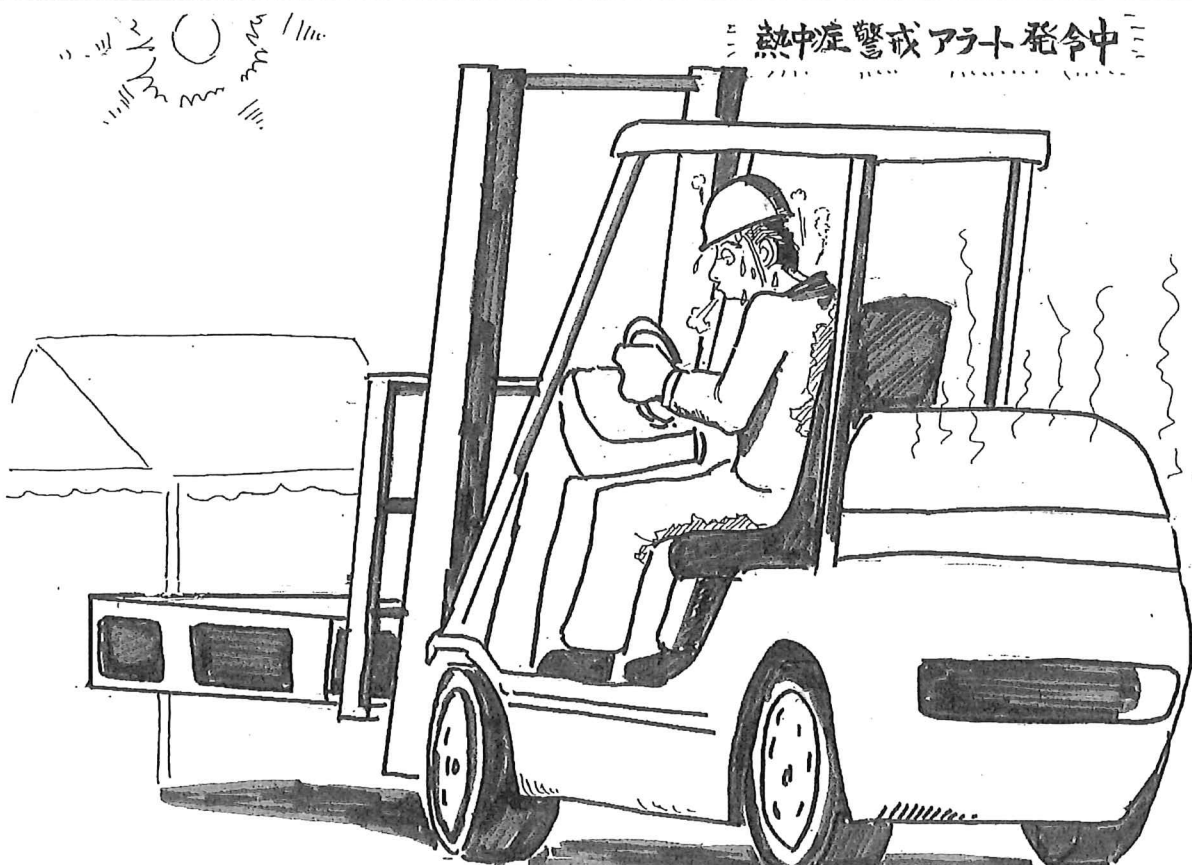
災害事例 (不休業8)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年3月14日(火)	9時30分	構内
職種:年齢:経験	作業員	52才	6年
発災時の作業内容	電気制御箱のふたのガスケット剥離作業中に、左手をスクレーパーで負傷した。		
傷病名:部位:程度	切創(17針縫合)	左手親指	不休業
事故の型:起因物	切れ、こすれ		スクレーパー
原因	不安全な状態	・ふたの表面に丸みがあったため作業がしにくい状態だった。	
	不安全な行動	・スクレーパーの進行方向に左手を置いて作業した。 ・耐切創手袋を着用していなかった。	
	安全管理上の欠陥	・ガスケット剥離作業の手順教育が不十分だった。 (スクレーパー取り扱い、適正な保護具の着用等)	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガスケット剥離作業の手順教育を行い、現地で確認指導する。 (刃物の進行方向に手を置かない、剥離材やシンナー等を塗布後に作業、切創防止用手袋を着用)</li> <li>・ふたがガタつかないようにして作業を行う。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

災害事例 (不休業9)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年5月21日(日)	14時20分	構内
職種:年齢:経験	監督	33才	15年
発災時の作業内容	熱交換器カバーのボルトルーズ作業中、空振りしたハンマーが作業員の手からすっぽ抜け、3m先にいた監督者の足に当たった。		
傷病名:部位:程度	骨折	左足指	不休業
事故の型:起因物	飛来、落下		ハンマー
原因	不安全な状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンマーの柄が滑りやすい状態になっていた。</li> <li>ハンマーの飛来する方向に人がいた。</li> </ul>	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンマーの柄が滑りやすい状態でハンマーを振った。</li> <li>ハンマーの飛来方向の安全を確認しなかった。</li> </ul>	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業前のRKY時にリスクの摘出が不十分だった。</li> </ul>	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのハンマー柄部分に滑り止めテープを貼り付ける。</li> <li>ハンマー飛来方向の人払いを徹底する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

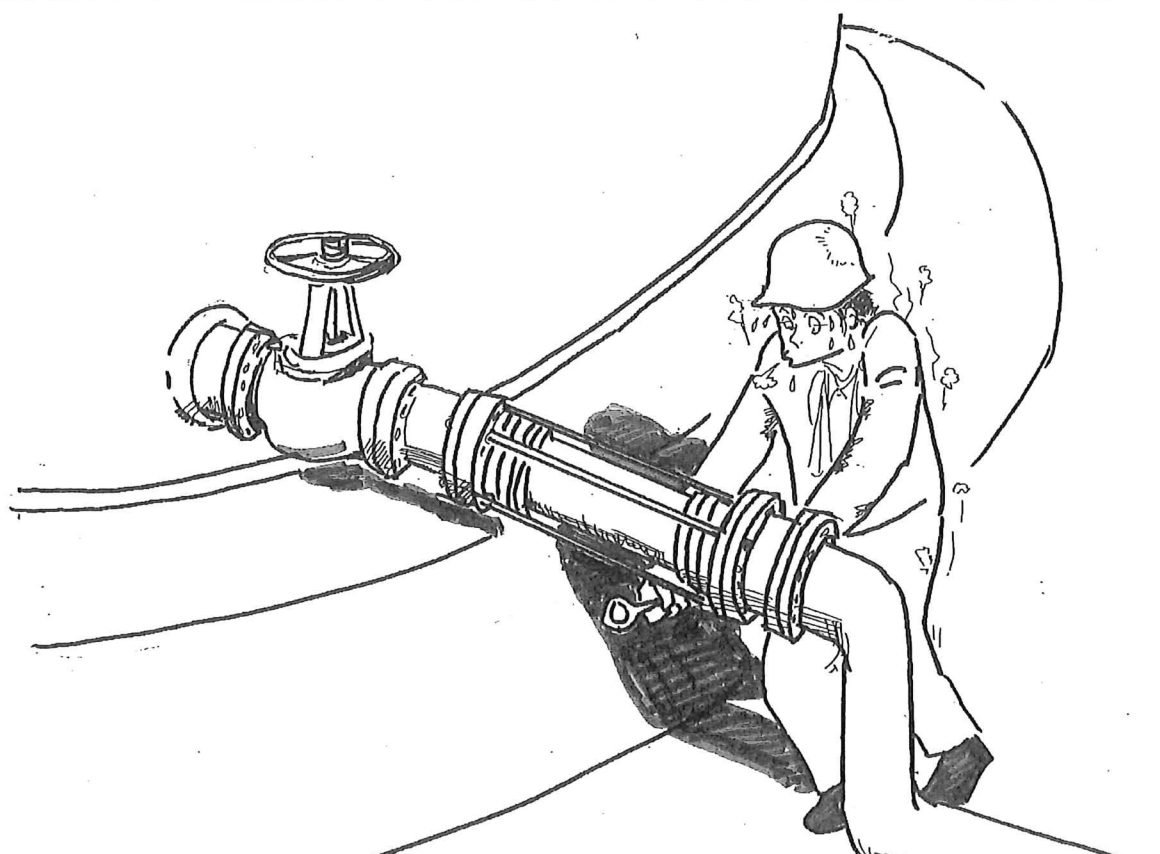


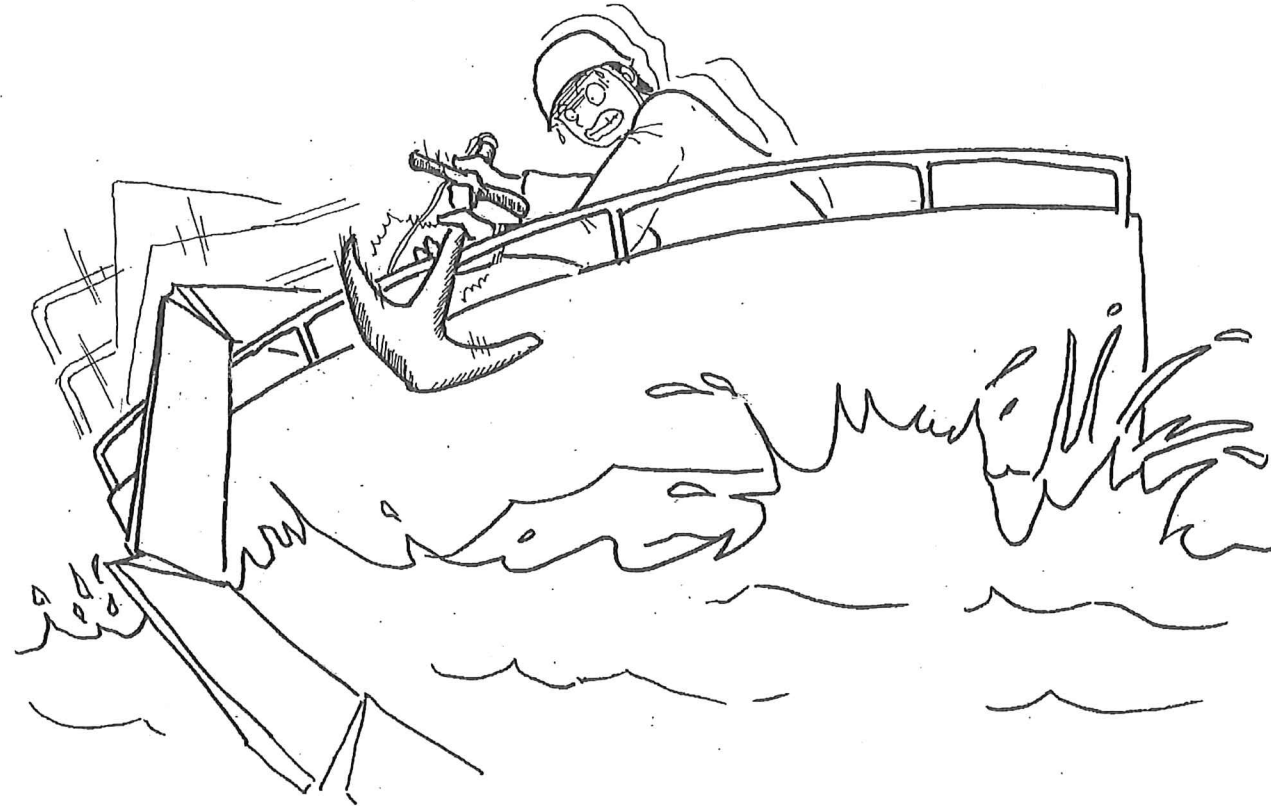
災害事例 (不休業10)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年6月16日(金)	15時40分	構内
職種:年齢:経験	作業員	24才	4年
発災時の作業内容	仮設ポンプを移動するため、フォークリフト運転士と作業員2名が作業エリアで打ち合わせを行っていた。打ち合わせ終了後、すぐにフォークリフトが右に旋回したので被災者の足に左後輪が当たった。		
傷病名:部位:程度	骨折	右足首	不休業
事故の型:起因物	激突され	フォークリフト	
原因	不安全な状態	・フォークリフトの動線上に被災者が立っていた。	
	不安全な行動	・フォークリフト運転手は、周囲の確認を怠った。	
	安全管理上の欠陥	・フォークリフトを動かす際の周囲の安全確認に対する指導が不十分だった。	
再発防止対策	・フォークリフトを動かす前に周囲の安全確認を行う事を徹底する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

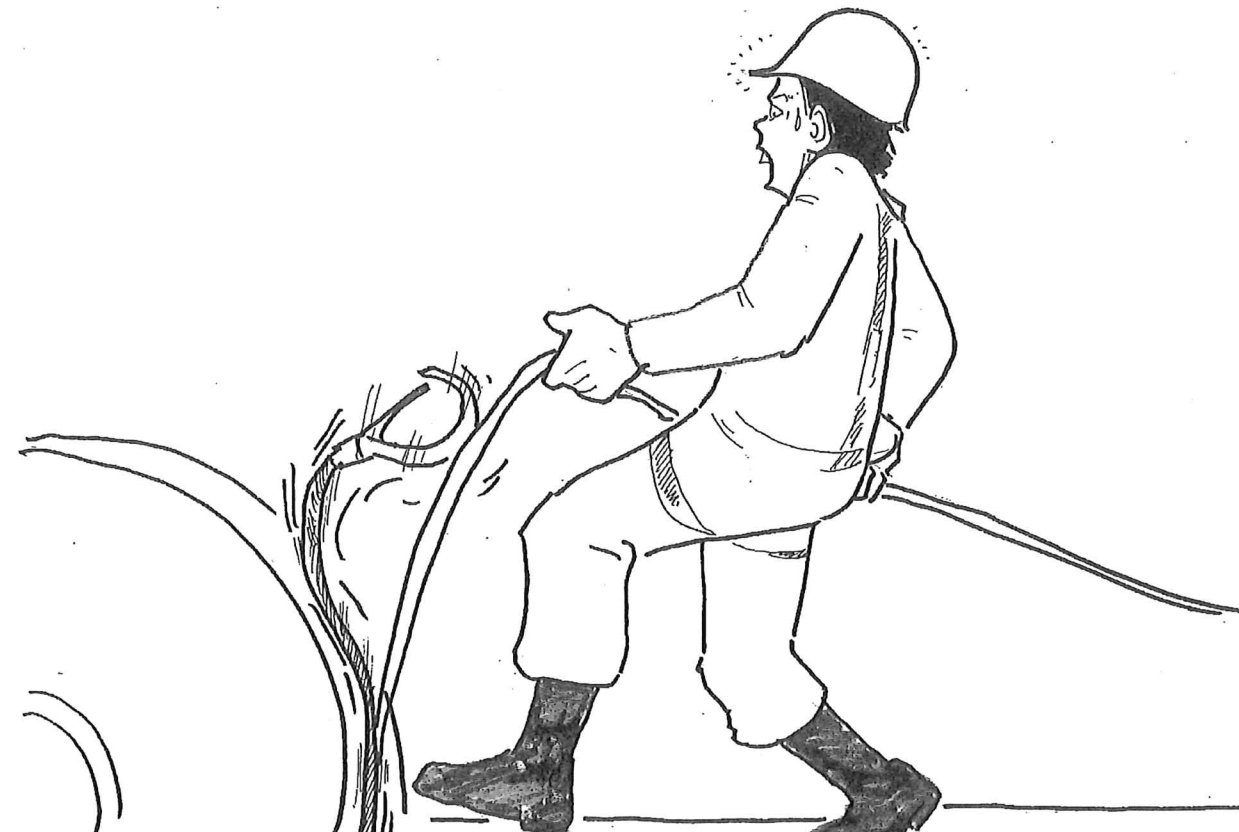
災害事例 (不休業 11)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年6月28日(水) 16時25分		構内
職種:年齢:経験	作業員		72才:5年2ヵ月
発災時の作業内容	車両(1BOX)の荷台より荷物を取り出し、片手でリアハッチを閉めようとした際、リアハッチの左角が頭に当たった。		
傷病名:部位:程度	切創		頭頂部:不休業
事故の型:起因物	激突され		リアハッチ
原因	不安全な状態		
	不安全な行動	・頭に当たる位置でリアハッチを閉めようとした。	
	安全管理上の欠陥		
再発防止対策	・リアハッチを閉める時は体に当たらない位置(リアハッチの外側)から閉める。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		無し	
			

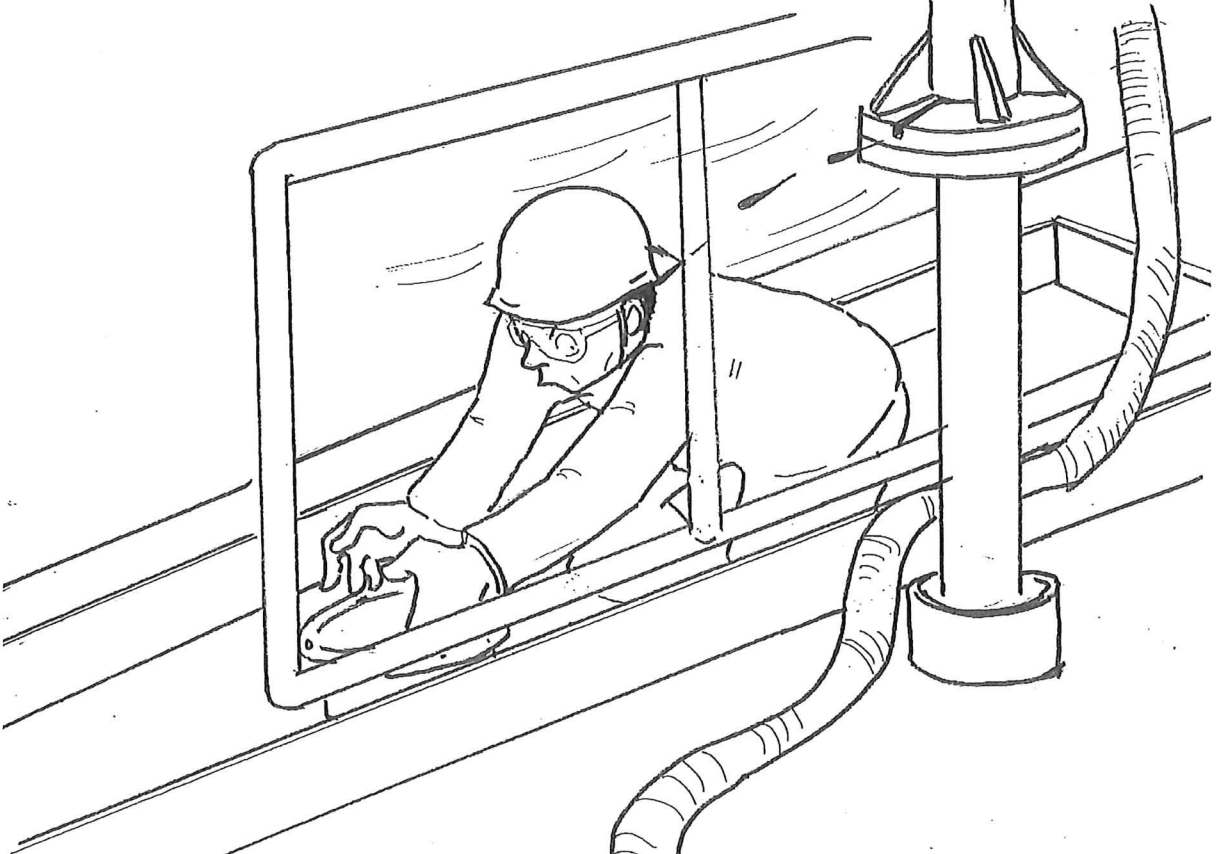
災害事例 (不休業 12)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻：場所	2023年7月27日(木) 11時26分		構内
職種：年齢：経験	運転士		53才 11年
発災時の作業内容	洗淨した樹脂パレットをフォークリフトにて運搬していた。 作業が終わりフォークリフトから降りた際にめまいがしたので、近くの控室まで歩き、水分補給と休憩を取った。その後症状が悪化し病院へ搬送された。		
傷病名：部位：程度	熱中症		不休業
事故の型：起因物	高温・低温の物との接触		環境等
原因	不安全な状態	・熱中症警戒アラート(WBGT値33℃以上)が発令されていた。	
	不安全な行動	・原則、作業禁止(厚生労働省指針)にもかかわらず作業を行った。	
	安全管理上の欠陥	・WBGT値に基づく作業管理ができていなかった。	
再発防止対策	・熱中症警戒アラートが発令された時の対応についてあらかじめ客先と協議して決めておく。(作業継続可否、継続させる場合にはその対策)		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		無し	
			

災害事例 (不休業13)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年7月27日(木)	14時50分	倉庫
職種:年齢:経験	作業員	63才	3ヵ月
発災時の作業内容	コンテナ内の2段2列積みフレコンバッグを搬出する際、荷崩れをおこしていた。そのフレコンバッグをフォークリフトで取り出した時、フレコンバッグが倒れ、左側で補助作業をしていた作業員の両足がはさまれた。		
傷病名:部位:程度	挫傷	両足	不休業
事故の型:起因物	はさまれ、巻き込まれ		フレコンバッグ
原因	不安全な状態	・フレコンバッグが荷崩れしていた。(木製のパレットが長期保管で腐食)	
	不安全な行動	・フォークリフト作業中にそのエリア内で作業をした。	
	安全管理上の欠陥	・補助作業員をフォークリフト作業エリア内で作業をさせた。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐食しないパレットを使用する。</li> <li>・フォークリフト作業中はそのエリア内には立ち入らない。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し

災害事例 (不休業 14)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年8月10日(木)	14時30分	プラント内
職種:年齢:経験	作業員	52才	15年
発災時の作業内容	タンク開放検査中、作業員が熱中症の疑いがあり休憩していたが、体調が急に悪化し病院に搬送した。		
傷病名:部位:程度	熱中症	-	不休業
事故の型:起因物	高温・低温の物との接触	環境等	
原因	不安全な状態	・高温環境下での作業であった。(暑さ指数が危険レベル)	
	不安全な行動	・原則、作業禁止(厚生労働省指針)にもかかわらず作業を行った。	
	安全管理上の欠陥	・WBGT値に基づく作業管理ができていなかった。	
再発防止対策	・暑さ指数が危険レベルの場合には、その時の対応についてあらかじめ客先と協議して決めておく。(作業継続可否、継続させる場合にはその対策)		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

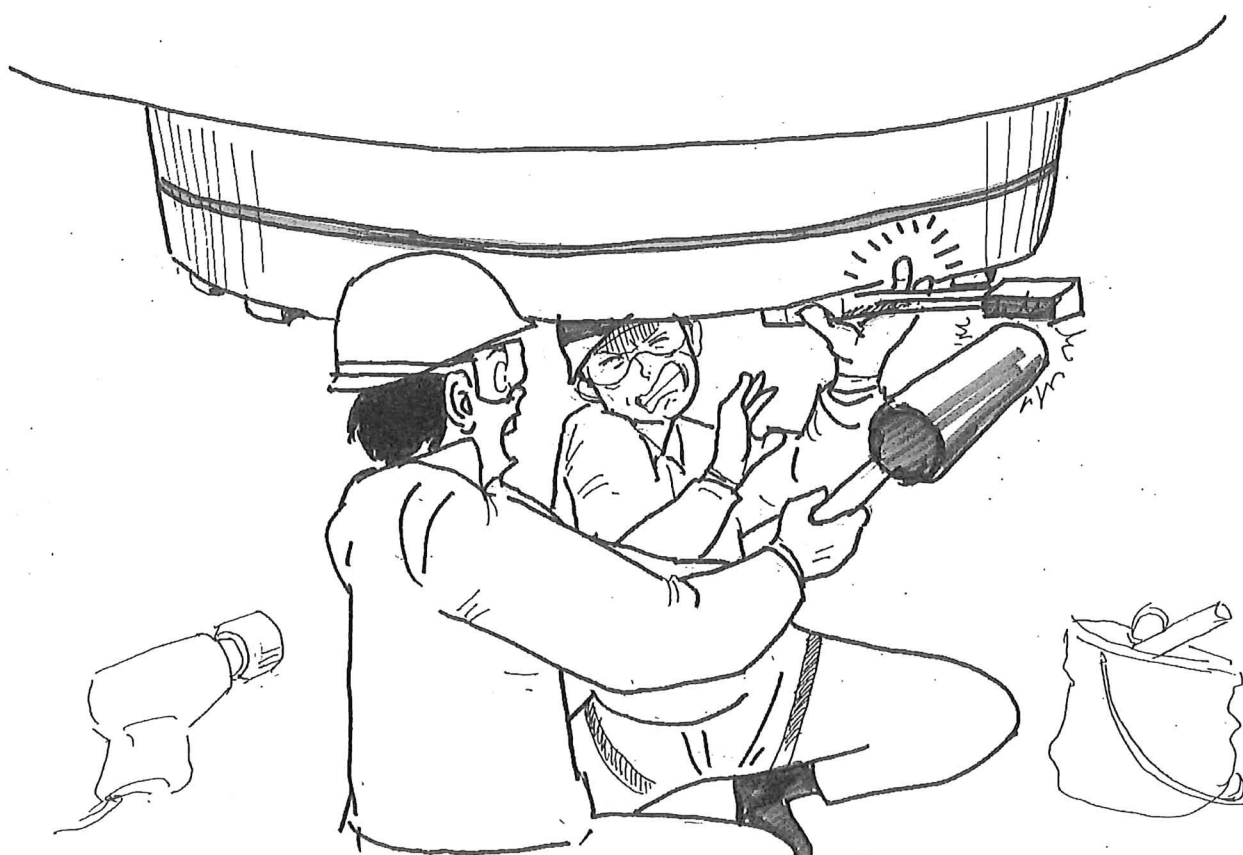
災害事例 (不休業15)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2023年8月16日(水) 17時		船上
職種:年齢:経験	作業員 : 37才		15年
発災時の作業内容	オイルフェンスを展開するため、船上でオイルフェンス形状維持用のいかりを海中へ投下していた。その際、船体が波(うねり)で揺れたためバランスを崩し、いかりと船尾の手すりに手をはさまれた。		
傷病名:部位:程度	挫創 : 左手中指		不休業
事故の型:起因物	はさまれ、巻き込まれ		うねり
原因	不安全な状態	・波の高さは1m未満であったが台風の影響によりうねりがあった。	
	不安全な行動	・バランスを崩した際にはさまれる場所に手を置いた。	
	安全管理上の欠陥	・うねりがある時の作業手順が決められていなかった。 ・作業中に船体が揺れた時の安全指示が不十分だった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業手順(船体の揺れが少ない場所で2名作業、ロープを使用して固定等)を作成して教育する。</li> <li>・管理者は作業手順が順守されているか現地現物で確認しフォローする。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

災害事例 (不休業16)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年10月2日(月)	18時30分	プラント内
職種:年齢:経験	作業員	23才	4年3ヵ月
発災時の作業内容	垂直コンベアのベルト交換作業で、ベルトのまわり止めで取り付けていたワイヤーの回収を開始した。上部の作業員が介錯ロープにてワイヤーを引き上げ、下部に設置したワイヤー巻き取り機で、ワイヤーを巻き取っていた。ある程度、ワイヤーを巻き取った時に下側からワイヤーを引っ張っていなかったためワイヤーが自重で落下し、ワイヤー先端のフックが上部作業員の足に当たった。		
傷病名:部位:程度	骨折	左足中指,薬指,小指	不休業
事故の型:起因物	激突され		フック
原因	不安全な状態	・自重でワイヤーが落下する状態になっていた。	
	不安全な行動	・危険作業であるにもかかわらず、共同作業者間で作業方法を共有せずに作業を行った。	
	安全管理上の欠陥	・ワイヤー回収(付帯作業)というリスクが高い作業に対するアセスメントが不十分だった。 ・作業前のTBMで作業手順の共有、確認が不足していた。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付帯作業であってもリスクの高い作業にあつてはアセスメントを行い、事前検討会等で要領書の確認を行う。</li> <li>・作業手順書を作成して作業員に周知する。</li> <li>・危険作業直前にミーティングを実施し、作業指示を守ることを徹底する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (不休業 17)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻：場所	2023年10月6日(金)	12時45分	ローリー充填場
職種：年齢：経験	運転士	27才	2年
発災時の作業内容	ローリーへ35%塩酸(薬液)を充填し、縁切り弁を全閉後、ローリー上部のマンホールに蓋を取りつけていた。その時、充填ノズル上部に残留していた薬液が滴り落ち左耳を被液した。		
傷病名：部位：程度	薬傷	左耳	不休業
事故の型：起因物	有害物等との接触		ノズル
原因	不安全な状態	・充填ノズル(塩ビ製)に亀裂が入っていた。	
	不安全な行動	・耐酸服(保護具)の着用方法が不適切だった。	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充填ノズルに亀裂が入っても薬液が滴下しないような設備にしていなかった。(充填ノズルの亀裂点検は定期的に行っていた)</li> <li>・充填ノズルの保守管理方法の手順化および教育が出来てなかった。</li> <li>・保護具の着用方法の指導が不十分だった。</li> </ul>	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充填ノズルに亀裂が入っても薬液が滴下しないような設備に改造する。(客先)</li> <li>・充填ノズルの保守管理方法を手順化し教育する。(客先)</li> <li>・保護具着用方法を教育し、現地で確認指導を行う。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (不休業 18)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻：場所	2023年10月13日(金)	15時	プラント内
職種：年齢：経験	作業員	28才	4年
発災時の作業内容	ボイラ補修工事において、ボイラ下部でPT検査を実施していた被災者の肩に、上部で作業していた溶接工の工具箱(1kg)が落下し当たった。 落下距離は約5.4mであった。		
傷病名：部位：程度	打撲	右肩	不休業
事故の型：起因物	飛来、落下		工具箱
原因	不安全な状態	・工具箱の落下防止措置が不十分だった。(S環に掛けていた)	
	不安全な行動	・上下作業を行っていた。	
	安全管理上の欠陥	・上下作業の調整に不備があった。(上部の溶接作業が予定通り午前中に終わらなかったため、午後も継続して作業を行った)	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下作業禁止を徹底する。(溶接と検査の工程を完全に分離する)</li> <li>・調整内容に変更があった場合は再調整を行う。</li> <li>・工具箱をフック付きの電工袋に変更し、さらに落下防止用の紐で電工袋を固縛する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

災害事例 (不休業 19)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年11月4日(土)	10時	: プラント内
職種:年齢:経験	鳶職	: 27才	: 8年
発災時の作業内容	<p>リアクターマンホールの増し締めを2人作業にて実施していた。被災者は打撃スパナが外れないよう左手で支え、共同作業者がハンマーにて打撃スパナを叩いていた際、指を曲げて支えていたため、回転した打撃スパナとマンホール縁とで指を挟んだ。</p> <p>(保護具は皮手袋を装着していた)</p>		
傷病名:部位:程度	骨折	: 左手中指	: 不休業
事故の型:起因物	はさまれ、巻き込まれ	:	打撃スパナ
原因	不安全な状態	・下部斜めマンホールのマシンボルトが建込タイプであり、下向きにしか打撃スパナをかけられない構造であった。	
	不安全な行動	・打撃スパナを手で支えていた。	
	安全管理上の欠陥	・打撃スパナを手で支える事を容認していた。	
再発防止対策	・手で支える必要のない専用の治具を作製して使用する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り



災害事例 (不休業 20)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2023年11月8日(水)	9時50分	プラント内
職種:年齢:経験	作業員	41才	19年
発災時の作業内容	<p>作業員2名でタンク下部マンホールのふた(径980mm×厚さ20mm、約115Kg)をボルト1本とシノで固定し、被災者がふたを支える体勢で開放していた。</p> <p>共同作業員が、シノを抜いてふたを下そうとしたが動かなかったため、ボルトを緩めたところ不意にふたが落下した。被災者は、ふたを支えきれず、バランスを崩しタンク本体のフランジに顎を強打した。</p>		
傷病名:部位:程度	挫創(10針縫合)	下顎	不休業
事故の型:起因物	激突		フランジ
原因	不安全な状態	・取り外そうとしたふたが重かった。	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同作業における十分な声掛けができていなかった。</li> <li>・重量物を一人で支えようとした。</li> </ul>	
	安全管理上の欠陥	・重量物取り扱いについてのリスクアセスメントが不十分であった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重量物取り扱いについてのリスクアセスメントを行う。 (ふた下部に枕木を置いて養生等)</li> <li>・作業を行う時は共同作業員に声掛けを行う。</li> <li>・軽量ふたに変更する。</li> </ul>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

# 令和5年 死亡災害発生状況

三重労働局

NO.	県別	発生月	業種	被災者		事故の型	起因物	発生状況
				職種	年齢(年代)			
1	三重県	1月	教育研究業	作業者	40代	墜落・転落	建築物・構築物	被災者は、事務所3階の窓ふきを行っていたところ、地面に墜落した。
2	三重県	1月	卸売業	作業者	20代	はさまれ・巻き込まれ	コンベア	被災者は、コンベアの異常を点検していたところ、当該コンベアに巻き込まれた。
3	三重県	1月	その他建築工事業	運転手	70代	交通事故	トラック	被災者は、軽トラックを運転中、交差点において西進右折したところ、南進の中型トラックと衝突した。
4	三重県	1月	道路貨物運送業	運転手	50代	交通事故	トラック	被災者が運転するダンプトラックが道路脇にある街灯に激突し横転した。
5	三重県	1月	食料品製造業	作業者	60代	墜落・転落	建築物・構築物	被災者は、工場内中2階の物置部分の作業床端部付近で作業を行っていたところ、床面に墜落した。
6	三重県	2月	林業	作業者	50代	飛来・落下	地山、岩石	被災者は、山林内で伐倒木の枝払いを行っていたところ、斜面上方から滑り落ちてきた伐倒木に激突された。
7	三重県	3月	農業	作業者	60代	飛来・落下	地山、岩石	被災者は、法面の下で草刈り作業を行っていたところ、他の作業者が法面で玉切を行った木材が転がり落ち、その木材に激突された。
8	三重県	5月	警備業	警備員	60代	墜落・転落	建築物・構築物	被災者は、橋梁上の定期巡視を行っていたところ、急性心筋梗塞を発症し、当該橋梁(高さ約20m)から墜落した。
9	三重県	6月	その他建築工事業	運転手	50代	交通事故	トラック	被災者は、トラックを運転し高速道路を走行中、ハンドル操作を誤って道路脇の法面に乗り上げ、トラックが横転し被災した。
10	三重県	12月	道路貨物運送業	作業者	70代	崩壊・倒壊	材料	被災者は、工事に使用するコンクリート製品をバタ角上に仮置きし、養生シートをコンクリート製品にかけ、風で飛ばないようにテープ貼りの作業を行っていたところ、コンクリート製品が倒れてきてその下敷きになった。
11	三重県	12月	その他の金属製品製造業	作業者	20代	飛来・落下	クレーン	クレーンを用いて鋼板コイルの積み上げ作業を行っていたところ、鋼板コイルが落下し、他の作業者に激突し被災した。



令和5年労働災害発生状況（死亡者数及び休業4日以上の死傷者数）

四日市労働基準監督署  
 種

業種	起因物	合計	原動機	動力伝導機構	木材加工用機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	非金属材料用機械等	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学設備	溶接設備	炉・窯等	電気設備	人力機械・工具等	用具	その他の設備・装置	仮設物・埋設物・構築物等	危険物・有害物等	材料	荷	環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能	
製造業	食糧工業・繊維製品	66	4					12			3	31	1	2	1			53	70	17	199	5	(1) 28	27	69	112	49	1	
	繊維工業・繊維製品	5									1							4	10	2	20	1	1	2	3	4			
	木材・木製品	1		1															1	2									
	家具・装飾品	1																											
	化学工業	13	1					4																					
	窯業・土石	20	2		1			1		2	3								1	1	4	1			2	1			
	鉄鋼業・非鉄金属	11	1					1			3								1	2	2	3	1		2	2			
	金属製品	27	1		3		3			1	3								1	1	5	5	1		1	4			
	一般機械器具	21	1		1		4			1									1	1	1	1		1	1	4			
	電気機械器具	12			4		4														1	1				2			
	運送船舶	1																			1	1							
	輸送機械等	18						2			2	1								1	3		1		1	6			
	電気・ガス・水道業																		1	1	2								
	自動車整備業・機械修理業	4																	1	1	2								
	上記以外の製造業	16						5		2	2	1						3	17	8	42	3	8	3	11	23	8		
	小計	216	9	7	1	11	28	5		4	17	1			2			13	17	8	42	3	8	3	11	23	8		
鉱業	採石	1						1												1									
建設業	上記以外の鉱業	1																											
	小計	2																											
建築業	土木工事	23				2		2		2	1	1							1	1	5		1	2	3	1	1		
	木造家屋建築工事	8			2						1	1							1	1	3								
	上記以外の建築工事	(1) 39					1			(1) 3	1	1	1	1				1	8	1	12	1	4		4	2			
	その他の建設業	26			1			2		2	1							1	2	5	5		6		3	2	1		
	小計	(1) 96			3	2	1	4		4	(1) 6	3			1			3	12	1	25	1	11	2	10	5	2		
運輸業	旅客運送業	9									2	1							1	4	4								
	道路貨物運送業	(1) 106									43	2						5	9	3	18	(1) 4	7	7	4	4			
	港湾運送業	2									1								1	1									
	上記以外の運輸業	18								1	1	3						3	2	1	2			2		3			
	小計	(1) 135								1	47	6						9	12	4	24	(1) 4	9	7	7	5			
第一産業	農業・畜産業	11								1		1						1	3		2								
	林業	2																	1	1									
	水産業																												
	小計	13										1						1	4		2								
商業	小売業	86								1	3	6							7	6	2	19	1	7	10	19	4		
	うち新聞販売業	8									4								1	1					2	1			
	上記以外の商業	28									4	1						2	5		6		2		2	4	2		
	信託業	12										4							1	4	4			1	1	1			
通商	社会福祉施設	64									1	1						2	1	2	16			1	6	20	15		
	医療保健業・その他	20																	1	1	9	1		1	1	7	2		
	旅館	5																			1					2	1		
	飲食店	41										2						7	2		10		1	1	6	11	2		
	コルフ場	12										2							2		3				3	2	2		
	上記以外の接客娯楽業	11																	1	1	7				1	1	2		
	ビルメンテナンス業	11								1	2	1							1	1	4			2	1	4	2		
	廃棄物処理業	17				1					1	1							1	1	2			2	2	4	2		
	上記以外の清掃業	8									1								1	1	5			2	2	2	1		
	備前業	12									1	3							6	4	13	1	2	1	2	4	2		
	上記以外の事業	42									1	3							4	4	106	1	5	13	36	77	34	1	
	小計	369	1		2	3				2	12	20				1		27	24	4	4	1	5	13	36	77	34	1	

資料出所 四日市労働基準監督署「死亡災害報告・労働者死傷報告」  
 注：( )は、死亡者数を内数であわしたものを示す。

令和5年 労働災害発生状況（死亡者数及び休業4日以上之死傷者数）

四日市労働基準監督署  
確 定

業 種	年 別	令和4年		令和5年		対前年比			
		死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡		死傷	
						人数	%	人数	%
合 計		5	835	2	831	-3人	-60.0%	-4人	-0.5%
製 造 業	食 料 品		65		66			+1人	+1.5%
	織 維 工 業		3		2			-1人	-33.3%
	衣 服 そ の 他 の 織 維		1		3			+2人	+200.0%
	木 材 ・ 木 製 品		3		1			-2人	-66.7%
	家 具 ・ 装 備 品		1		1			±0人	±0.0%
	パ ル プ ・ 紙 加 工 品		1		7			+6人	+600.0%
	印 刷 ・ 製 本				1			+1人	
	化 学 工 業	1	27		13	-1人	-100.0%	-14人	-51.9%
	窯 業 土 石 製 品		22		20			-2人	-9.1%
	鉄 鋼 業		12		9			-3人	-25.0%
	非 鉄 金 属				2			+2人	
	金 属 製 品		35		27			-8人	-22.9%
	一 般 機 械 器 具		26		21			-5人	-19.2%
	電 気 機 械 器 具		17		12			-5人	-29.4%
	造 船 業		1		1			±0人	±0.0%
	造 船 業 以 外 の 輸 送 用 機 械		19		18			-1人	-5.3%
	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業		1					-1人	-100.0%
	自 動 車 整 備 業 ・ 機 械 修 理 業		3		4			+1人	+33.3%
上 記 以 外 の 製 造 業		8		8			±0人	±0.0%	
小 計		1	245		216	-1人	-100.0%	-29人	-11.8%
鉱 業	採 石 業		1		1			±0人	±0.0%
	上 記 以 外 の 鉱 業				1			+1人	
	小 計		1		2			+1人	+100.0%
建 設 業	土 木 工 事	2	24		23	-2人	-100.0%	-1人	-4.2%
	木 造 家 屋 等 建 築 工 事		8		8			±0人	±0.0%
	木 造 家 屋 以 外 の 建 築 工 事		32	1	39	+1人		+7人	+21.9%
	そ の 他 の 建 設 業	2	31		26	-2人	-100.0%	-5人	-16.1%
	小 計	4	95	1	96	-3人	-75.0%	+1人	+1.1%
運 輸 業	旅 客 運 送 業		9		9			±0人	±0.0%
	道 路 貨 物 運 送 業		105	1	106	+1人		+1人	+1.0%
	港 湾 運 送 業		2		2			±0人	±0.0%
	上 記 以 外 の 運 輸 業		17		18			+1人	+5.9%
	小 計		133	1	135	+1人		+2人	+1.5%
第 一 次 産 業	林 業				2			+2人	
	農 業 ・ 畜 産 業		11		11			±0人	±0.0%
	水 産 業								
小 計		11		13			+2人	+18.2%	
第 三 次 産 業 等	商 業	小 売 業	99		86			-13人	-13.1%
		う ち 新 聞 販 売 業	15		8			-7人	-46.7%
		上 記 以 外 の 商 業	28		28			±0人	±0.0%
	通 信 業	通 信 業	11		12			+1人	+9.1%
		社 会 福 祉 施 設	62		64			+2人	+3.2%
	保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業 ・ そ の 他	20		20			±0人	±0.0%
		旅 館 業	2		5			+3人	+150.0%
	接 客 娯 楽 業	飲 食 店	25		41			+16人	+64.0%
		ゴ ル フ 業	16		12			-4人	-25.0%
		上 記 以 外 の 接 客 娯 楽 業	11		11			±0人	±0.0%
	清 掃 業	ビ ル メン テ ナンス 業	9		11			+2人	+22.2%
		産 業 廃 棄 物 処 理 業	13		17			+4人	+30.8%
		上 記 以 外 の 清 掃 ・ と 畜 業	7		8			+1人	+14.3%
	警 備 業	8		12			+4人	+50.0%	
	上 記 以 外	39		42			+3人	+7.7%	
	小 計		350		369			+19人	+5.4%

資料出所 四日市労働基準監督署「死亡災害報告・労働者死傷病報告」  
注：死亡者数は内数であらわしたものの。  
新型コロナウイルス感染症のり患者数(令和4年：695人、令和5年：76人)を除くもの。

## 教育部会報告

2023年度の教育部会の関連事業は、事業計画通りに実施することができました。

これもひとえに、四日市労働基準監督署をはじめ、コンビナート元方企業の皆様の温かいご支援・ご指導のたまものと厚く御礼申し上げます。

本年度に実施しました事業内容は以下の通りです。

教育内容		開催日	履修者	開催場所
第91回	職長・安全衛生責任者教育	2023.08.29~30	23名	昭四 塩浜クラブ
第92回	職長・安全衛生責任者教育	2024.02.21~22	22名	昭四 塩浜クラブ
第93回	職長・安全衛生責任者教育	2024.05.23~24	14名	昭四 塩浜クラブ
第86回	実践KYT教育	2023.07.27	17名	昭四 塩浜クラブ
第87回	実践KYT教育	2023.10.24	17名	昭四 塩浜クラブ
第88回	実践KYT教育	2024.01.30	18名	昭四 塩浜クラブ
講師	職長・安全衛生責任者教育 日 沖勝哉氏・渡邊健治氏・小林繁行氏 実践KYT教育 寶 幸夫氏・後久隆一氏・中西伸一氏			
研 修 会 講 演 会	2023.11.09		70名	四日市市文化会館
	講師 昭和四日市石油(株)四日市製油所 環境安全・品質保証部 環境安全課長 小柳 卓様 三重労働局 雇用環境・均等室 労働紛争調整官 内田 憲様 四日市労働基準監督署 安全衛生課長 岡村 和良 様 四日市労働基準監督署 第一方面主任監督官 北島 久也 様			

2023年度の活動は、5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に分類されたことで、各事業は新型コロナウイルス感染症対策前とほぼ同等の活動となりました。

職長・安全衛生責任者教育3回、実践KYT教育3回を計画通り開催し、ほぼ定員で参加していただきました。また、研修講演会は、人数制限なく予定通り11月に実施し、講演内容は、昭和四日市石油様より「昭和四日市石油の安全活動」、三重労働局様より「県内の労働相談事例紹介及びパワーハラスメント防止措置の概要、紛争解決制度について」、四日市労働基準監督署様より「建設業における時間外労働の上限規制について」、「北勢地区の労働災害発生状況と労働災害防止のポイント」の4つのテーマで、有意義な講演を行っていただきました。改めまして感謝申し上げます。

各教育部会活動に参加されました方々が、得られた知識・情報を各社内で活用していただき、労働安全衛生の推進・強化に繋がっていただければと思います。

2024年度につきましても、教育部会委員をはじめ関係者一同、会員各社様の安全衛生活動向上のお役に立てるよう進めてまいりますので、今後も皆様のより一層のご協力をいただきたく、宜しくお願い申し上げます。ご安全に！

教育部会長 / 東ソー(株)四日市事業所安全協議会工事安全協力会代表  
東ソー霞エンジ(株) 佐藤 敏之

## 教育部会委員

五十音順 (2023年6月時点)

石原エンジニアリングパートナーズ(株) = 石原産業(株)四日市工場災害防止協議会代表  
エヌ・シー・ユー物流(株) = KHネオケム(株)四日市工場安全協力会代表  
山 九 (株) = 三菱ガス化学(株)四日市工場安全衛生協力会代表  
東ソー霞エンジ(株) = 東ソー(株)四日市事業所安全協議会代表  
中 日 本 建 設 (株) = 第一工業製薬(株)四日市工場災害防止協議会代表  
日 本 ト ラ ン ス シ テ ィ (株) = 丸善石油化学(株)四日市工場安全衛生協力会代表

## 事故事例研究部会委員

御 指 導 : 四日市労働基準監督署 安全衛生課長 平 田 幸 弘 様  
前 安全衛生課長 岡 村 和 良 様  
イラスト担当 : 昭和四日市石油株式会社 新 川 和 明 様

五十音順 (当該期間 2023 年 1 月～12 月)

味の素エンジニアリング(株) = 味の素(株)東海地区安全衛生協議会代表  
エムイーシーテクノ(株) = 三菱ケミカル(株)東海事業所安全衛生協議会代表  
山 九 (株) = ENEOSマテリアル/JSR 四日市工場総合災害防止協議会  
山 九 (株) = コスモ石油四日市製油所工事安全協力会代表  
昭 永 工 業 (株) = D I C (株)四日市工場安全衛生協力会代表  
(株) 第 一 工 務 店 = 上野製薬(株)四日市工場安全衛生協力会代表  
東邦ガスエンジニアリング(株) = 東邦ガス(株)四日市工場安全衛生協議会代表

## お わ り に

「労働災害事例研究」第43集が完成したのでお届けいたします。  
令和5年の災害件数は、当連絡協議会(14協議会)に所属する会社(482社)において、休業災害6件、不休業災害20件でした。

災害の特徴として、休業災害は令和4年の5件に対し令和5年は6件とほぼ同じ件数でした。型別でみると「はさまれ、巻き込まれ」、「動作の反動、無理な動作」で3件発生しており全体の半数を占めております。

また、不休業災害については、20件であり決して低い数値ではありませんが過去3年でみると減少しております。型別でみると「転倒」4件、「はさまれ、巻き込まれ」、および「激突され」が各3件発生しており全体の半数を占めております。

私自身この事例研究に携わり11回目になりますが、振り返ってみますと労働災害事例の原因の根底にあるものの多くが、危険に対する感性・意識の不足、および規則・ルールなど決められたことが守られていないことにあると考察しております。

「事前の一策、事後の百策に勝る」という言葉があります。会員の皆さま方におかれましては、本事例集を他山の石としていただき、我々の仲間から絶対に怪我人を出さないという強い決意のもと、類似災害の未然防止ツールとして、危険に対する感性・意識を高める教育・訓練、また、工事の計画段階でリスクアセスメントへの織り込みなどにご活用いただき、事前の一策を講じていただければ幸いです。

最後に、公務ご多忙の中、当事例研究会をご指導いただきました四日市労働基準監督署安全衛生課長 平田様および前任の岡村様、ならびに、ご熱心に討議いただきました各委員・関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。

令和6年6月

事故事例研究部会長／三菱ケミカル(株)東海事業所安全衛生協議会代表  
エムイーシーテクノ(株)中部事業所 原岡 道昭

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会  
会 員 名 簿

※ ◎印は幹事 ☆印は教育部会 ★印は事故事例研究部会

1	★	味の素(株)東海地区安全衛生協議会 住所 TEL 四日市市大字日永1730 味の素(株)東海事業所内 TEL 346-0118 代表会社 代表者 長田幸治	構成会社 23社	事務局 倉橋孝治
2	☆	味の素エンジニアリング(株)東海事業所 住所 TEL 四日市市大字日永1730 味の素(株)東海事業所内 TEL 346-0118 協議会名 石原産業(株)四日市工場災害防止協議会 住所 TEL 四日市市石原町1 TEL 345-6127 代表会社 代表者 山下育生	構成会社 3社	事務局 大崎雅樹
3	★	石原エンジニアリングパートナーズ(株) 住所 TEL 四日市市石原町1 TEL 345-1341 協議会名 上野製薬(株)四日市工場安全衛生協力会 住所 TEL 四日市市霞1-4 上野製薬(株)四日市工場内 TEL 364-3041 代表会社 代表者 水野利明	構成会社 24社	事務局 吉田雅一
4	◎	ENEOSマテリアル/JSR 四日市工場総合災害防止協議会 住所 TEL 四日市市川尻町100 TEL 344-0118 代表会社 代表者 隈丸貴公	構成会社 53社	事務局 伊藤純司
5	◎	KHネオケム(株)四日市工場安全協力会 住所 TEL 四日市市大協町2-3 TEL 331-0599 代表会社 代表者 後藤 真	構成会社 40社	事務局 萩野治文
6	◎	コスモ石油四日市製油所工事安全協力会 住所 TEL 四日市市大協町一丁目一番地 TEL 354-8743 代表会社 代表者 隈丸貴公	構成会社 57社	事務局 森 健一
7	◎	昭和四日市石油(株)四日市製油所安全協力連絡会 住所 TEL 四日市市塩浜町1 TEL 346-1283 代表会社 代表者 新堂久雄 (専従)	構成会社 82社	事務局 岩野淳作

2024年4月1日

8	☆	第一工業製薬災害防止協議会 住所 TEL 四日市市霞1丁目23番5 TEL 366-7172 代表会社 代表者 福田 龍雄	構成会社 20社	事務局 平岡武司
9	★	DIC(株)四日市工場安全衛生協力会 住所 TEL 四日市市大矢知町1925番地 TEL 364-2251 代表会社 代表者 吉田真一郎	構成会社 6社	事務局 谷本啓輔
10	◎	東ソー安全協議会 住所 TEL 四日市市霞1-1 TEL 364-8373 代表会社 代表者 佐藤敏之 藤井聖大 (山口正義)	構成会社 70社	事務局 稲垣隆宏
11	★	東邦ガス(株)四日市工場安全衛生協議会 住所 TEL 四日市市霞1-22-5 TEL 364-4566 代表会社 代表者 隈丸貴公	構成会社 6社	事務局 稲垣隆宏
12	☆	丸善石油化学(株)四日市工場安全衛生協力会 住所 TEL 四日市市霞1-3 TEL 364-1171 代表会社 代表者 長谷川傑	構成会社 4社	事務局 林 誠
13	◎	三菱瓦斯化学(株)四日市工場安全衛生協力会 住所 TEL 四日市市日永東2-4-16 TEL 345-8808 代表会社 代表者 隈丸貴公	構成会社 31社	事務局 渡辺博史
14	◎	三菱ケミカル(株)東海事業所安全衛生協議会 住所 TEL 四日市市東邦町1 TEL 345-7374 代表会社 代表者 隈丸貴公	構成会社 63社	事務局 高仲裕二
	◎	エムイーシーテクノ(株)中部事業所 住所 TEL 四日市市東邦町1 TEL 345-7274	代表者 岩下 豪	事務局 原岡道昭

会員=14協議会(協力会) 482構成会社